

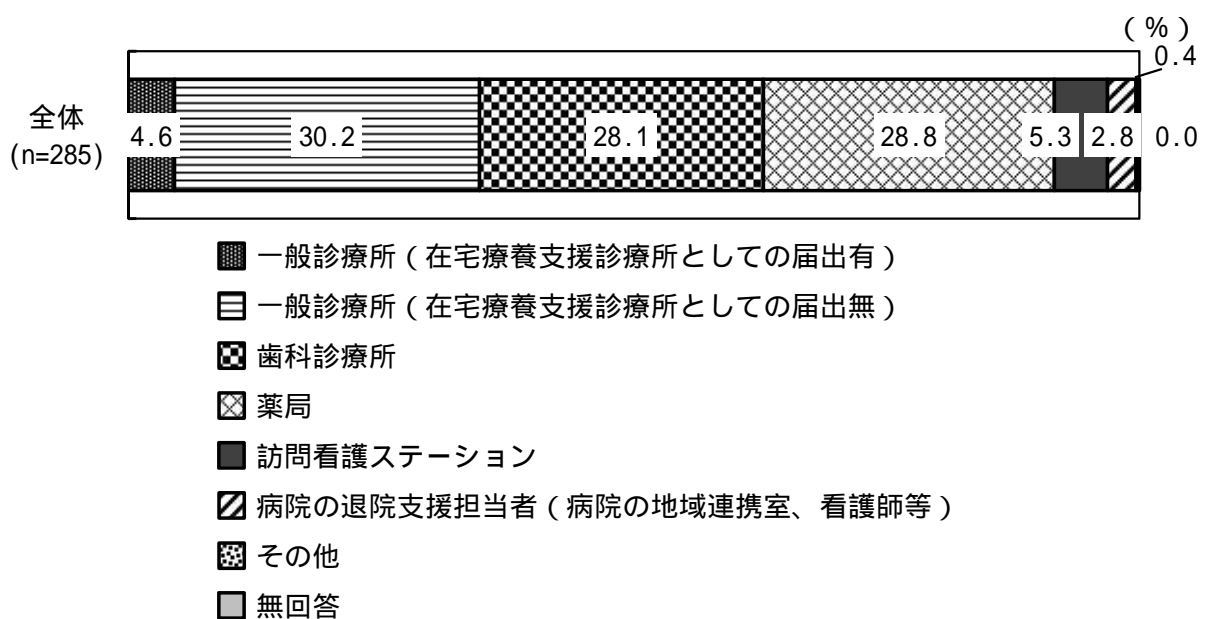
## 第6章 医療機関調査

### 6 - 1 調査結果の概要

#### (1) 回答者について

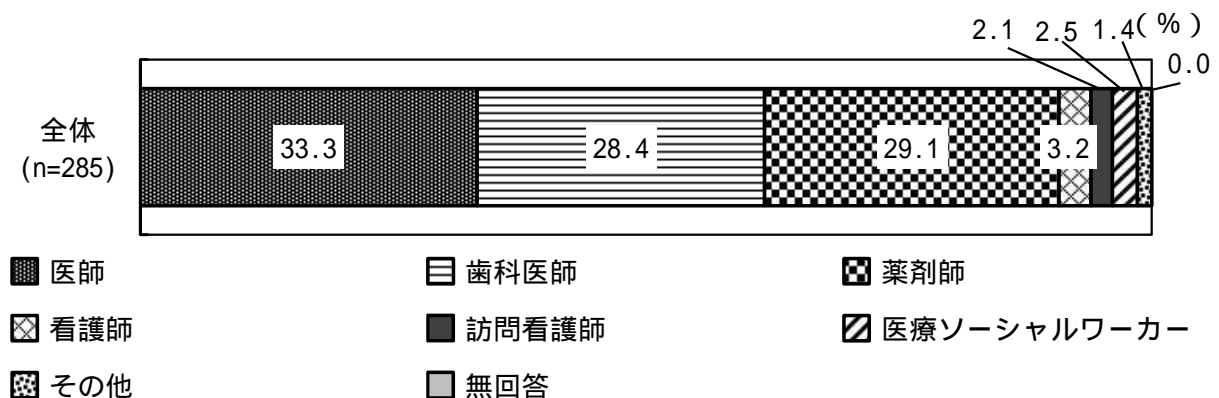
##### 問1 あなたが所属されている医療機関を教えてください。(1つに )

- ・「一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出無）」(30.2%)が最も多く、次いで「薬局」(28.8%)、「歯科診療所」(28.1%)となっている。



##### 問2 あなたの職種は次のどれですか。(1つに )

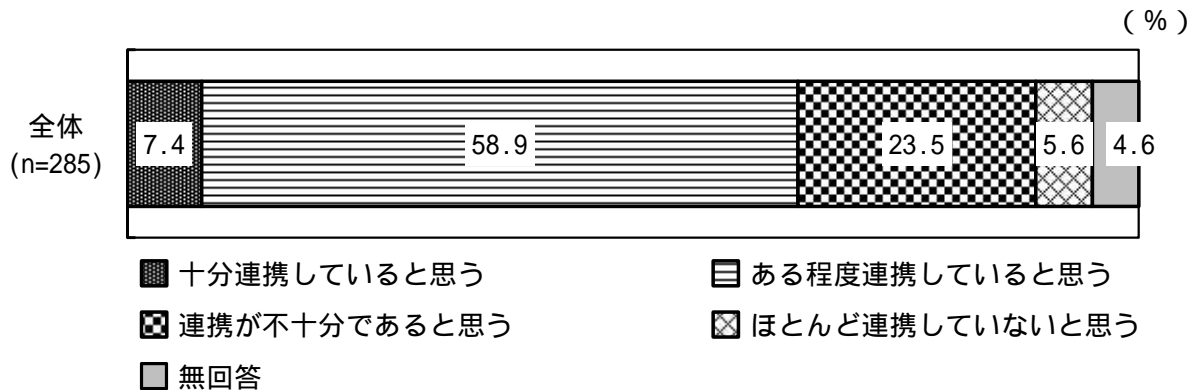
- ・「医師」(33.3%)が最も多く、次いで「薬剤師」(29.1%)、「歯科医師」(28.4%)となっている。



## (2) 医療と介護の連携の状況について

問3 あなたは、府中市民の在宅療養者を支える医療と介護の連携の状況についてどのように思いますか。(1つに)

- ・「十分連携していると思う」(7.4%)、「ある程度連携していると思う」(58.9%)を合わせた割合は66.3%となっている。一方、「連携が不十分であると思う」(23.5%)、「ほとんど連携していないと思う」(5.6%)を合わせた割合は29.1%となっている。
- ・『病院の退院支援担当者』では、「ほとんど連携できていないと思う」が25.0%となっている。

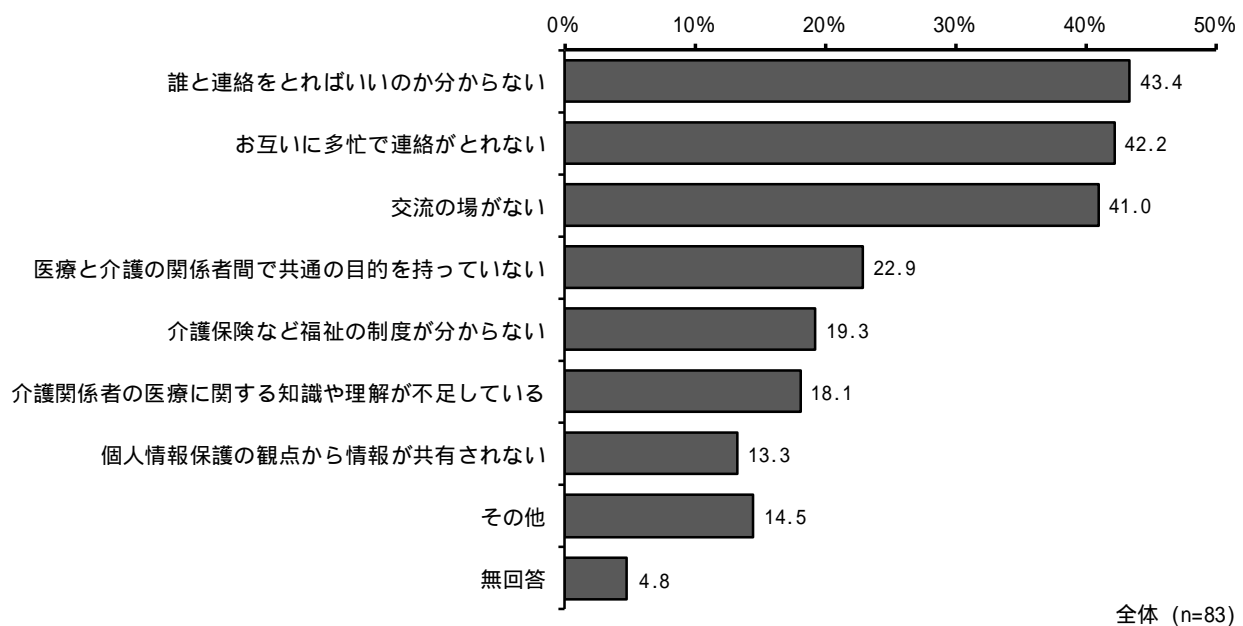


			十分連携していると思う	ある程度連携していると思う	連携が不十分であると思う	ほとんど連携していないと思う	無回答
全 体 (n=285)			7.4%	58.9%	23.5%	5.6%	4.6%
所属医療機関 ( 6 種 )	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=13)	15.4%	53.8%	23.1%	7.7%	0.0%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=86)	10.5%	58.1%	20.9%	4.7%	5.8%
	歯科診療所	(n=80)	11.3%	63.8%	17.5%	3.8%	3.8%
	薬局	(n=82)	0.0%	52.4%	34.1%	7.3%	6.1%
	訪問看護ステーション	(n=15)	6.7%	73.3%	20.0%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	0.0%	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%
職種 ( 6 種 )	医師	(n=95)	11.6%	55.8%	21.1%	6.3%	5.3%
	歯科医師	(n=81)	11.1%	64.2%	17.3%	3.7%	3.7%
	薬剤師	(n=83)	0.0%	51.8%	34.9%	7.2%	6.0%
	看護師	(n=9)	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	0.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	0.0%	71.4%	14.3%	14.3%	0.0%

問3で「連携が不十分であると思う」又は「ほとんど連携していないと思う」とお答えの方におたずねします

問3-1 あなたがそのように考える理由は何ですか。（3つまでに）

- ・「誰と連絡をとればいいのか分からない」（43.4%）が最も多く、次いで「お互いに多忙で連絡がとれない」（42.2%）、「交流の場がない」（41.0%）、「医療と介護の関係者間で共通の目的を持っていない」（22.9%）、「介護保険など福祉の制度が分からない」（19.3%）と続いている。
- ・「交流の場がない」は、『薬局』では58.8%と高い一方で、『一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）』や『訪問看護ステーション』では0.0%となっている。



		通 医 療 目 的 と 護 の 関 係 者 間 で 共 通 の 目 的 を 持 っ て い な い	お 互 い に 多 忙 で 連 絡 が と れ な い	報 告 が 人 情 報 共 有 さ れ な い 観 点 か ら 情 報 が 共 有 さ れ な い	交 流 の 場 が な い	誰 か と 連 絡 を と れ ば い い の か	介 護 保 険 な ど 福 祉 の 制 度 が	知 識 や 理 解 が 不 足 し て い る	そ の 他	無 回 答
全 体	(n=83)	22.9%	42.2%	13.3%	41.0%	43.4%	19.3%	18.1%	14.5%	4.8%
所属医療 機関 (6種)	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=4)	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=22)	31.8%	50.0%	9.1%	36.4%	54.5%	22.7%	13.6%	9.1%
	歯科診療所	(n=17)	29.4%	17.6%	23.5%	29.4%	41.2%	29.4%	23.5%	17.6%
	薬局	(n=34)	11.8%	52.9%	8.8%	58.8%	44.1%	17.6%	11.8%	20.6%
	訪問看護ステーション	(n=3)	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=3)	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=26)	30.8%	46.2%	11.5%	30.8%	46.2%	19.2%	15.4%	7.7%
	歯科医師	(n=17)	29.4%	17.6%	23.5%	29.4%	41.2%	29.4%	23.5%	17.6%
	薬剤師	(n=35)	11.4%	54.3%	8.6%	57.1%	45.7%	17.1%	14.3%	20.0%
	看護師	(n=0)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=1)	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=2)	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%

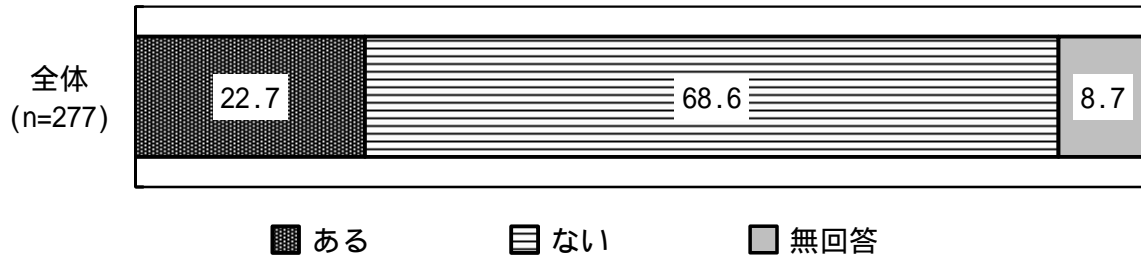
## 病院の退院支援担当者以外の方におたずねします

問4 あなたは、退院前（時）カンファレンスやサービス担当者会議に出席したことがありますか。

(1つに)

- ・「ある」が22.7%、「ない」が68.6%となっている。
- ・『訪問看護ステーション』では、「ある」割合が100%となっている。

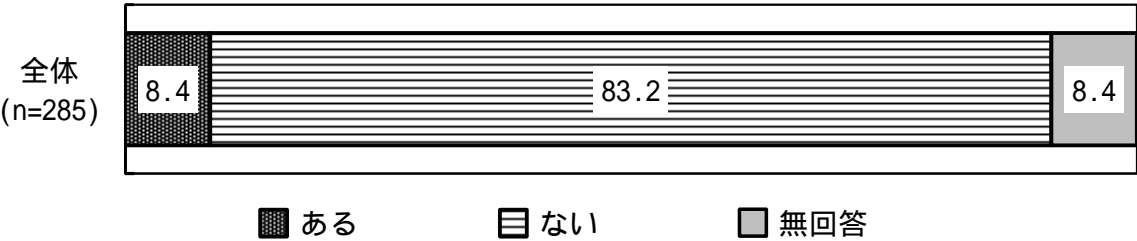
(%)



			ある	ない	無回答
全 体 (n=277)			22.7%	68.6%	8.7%
所属医療機関 (5種)	一般診療所 (在宅支援・届出有)	(n=13)	46.2%	46.2%	7.7%
	一般診療所 (在宅支援・届出無)	(n=86)	11.6%	75.6%	12.8%
	歯科診療所	(n=80)	15.0%	78.8%	6.3%
	薬局	(n=82)	23.2%	68.3%	8.5%
	訪問看護ステーション	(n=15)	100.0%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=94)	13.8%	73.4%	12.8%
	歯科医師	(n=81)	14.8%	79.0%	6.2%
	薬剤師	(n=83)	24.1%	67.5%	8.4%
	看護師	(n=8)	100.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	100.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=1)	100.0%	0.0%	0.0%

問5 あなたは、介護サービス事業者との間で問題やトラブルの発生を経験したことがありますか。  
(1つに)

- ・「ある」が8.4%、「ない」が83.2%となっている。
  - ・「ある」割合は、『一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）』では30.8%、『訪問看護ステーション』では40.0%、『病院の退院支援担当医者』では25.0%となっている。
- (%)



			ある	ない	無回答
全 体 (n=285)			8.4%	83.2%	8.4%
所属医療 機関 ( 6 種 )	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=13)	30.8%	61.5%	7.7%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=86)	9.3%	81.4%	9.3%
	歯科診療所	(n=80)	1.3%	93.8%	5.0%
	薬局	(n=82)	3.7%	89.0%	7.3%
	訪問看護ステーション	(n=15)	40.0%	46.7%	13.3%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	25.0%	37.5%	37.5%
職種 ( 6 種 )	医師	(n=95)	10.5%	80.0%	9.5%
	歯科医師	(n=81)	1.2%	93.8%	4.9%
	薬剤師	(n=83)	3.6%	89.2%	7.2%
	看護師	(n=9)	33.3%	33.3%	33.3%
	訪問看護師	(n=6)	33.3%	66.7%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	42.9%	28.6%	28.6%

問5で「ある」とお答えの方におたずねします

問5-1 どのような問題やトラブルの発生を経験しましたか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、22件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

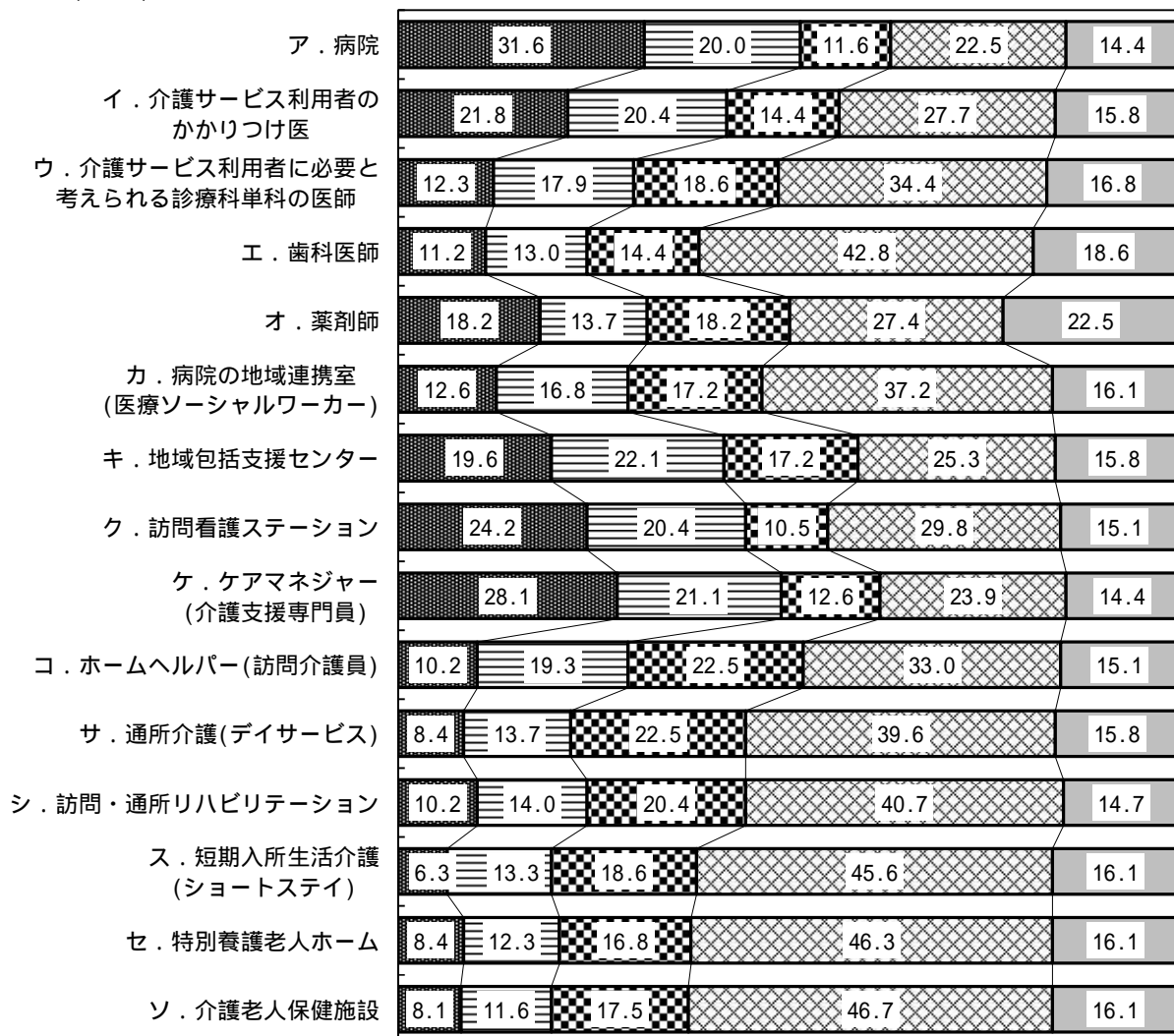
内容	件数
連携・情報交換（日常の連絡がとりにくい、情報交換が図りにくい、コミュニケーション不足）	4
専門性の違いによるずれ（情報の一方通行、視点の違い等について共有化を図りにくい）	8
事業所・CMとの問題（ケアプランの精度・内容の不備など、情報不足、事業所の閉鎖、担当拒否など、事業者の利益相反）	7
その他	3

問6 あなたが関わる介護サービス利用者について、次の関係機関、職種との連携状況をお答えください。（ア～ソそれぞれ1つに ）

- ・「連携している」と「少しは連携している」を合わせた割合は、『ア．病院』(51.6%)が最も多く、次いで『ケ．ケアマネジャー（介護支援専門員）』(49.2%)、『ク．訪問看護ステーション』(44.6%)、『イ．介護サービス利用者のかかりつけ医』(42.2%)、『キ．地域包括支援センター』(41.7%)と続いている。
- ・一方、「あまり連携していない」と「連携していない」を合わせた割合は、『ス．短期入所生活介護（ショートステイ）』と『ソ．介護老人保健施設』（ともに64.2%）が最も多く、次いで『セ．特別養護老人ホーム』(63.1%)、『サ．通所介護（デイサービス）』(62.1%)、『シ．訪問・通所リハビリテーション』(61.1%)と続いている。

全体 (n=285)

( % )



■ 連携している   ■ 少しは連携している   ■ あまり連携していない   ■ 連携していない   ■ 無回答

			ア. 病院					イ. 介護サービス利用者のかかりつけ医				
			連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全 体 (n=285)			31.6%	20.0%	11.6%	22.5%	14.4%	21.8%	20.4%	14.4%	27.7%	15.8%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)		53.8%	15.4%	0.0%	15.4%	15.4%	23.1%	23.1%	15.4%	23.1%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)		37.2%	18.6%	16.3%	17.4%	10.5%	14.0%	19.8%	20.9%	29.1%	16.3%
	歯科診療所 (n=80)		33.8%	20.0%	2.5%	23.8%	20.0%	15.0%	17.5%	11.3%	36.3%	20.0%
	薬局 (n=82)		12.2%	19.5%	19.5%	34.1%	14.6%	28.0%	17.1%	14.6%	26.8%	13.4%
	訪問看護ステーション (n=15)		60.0%	33.3%	6.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)		50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)		36.8%	20.0%	14.7%	17.9%	10.5%	14.7%	21.1%	20.0%	28.4%	15.8%
	歯科医師 (n=81)		33.3%	19.8%	2.5%	23.5%	21.0%	14.8%	17.3%	11.1%	35.8%	21.0%
	薬剤師 (n=83)		13.3%	19.3%	19.3%	33.7%	14.5%	27.7%	16.9%	14.5%	27.7%	13.3%
	看護師 (n=9)		66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)		50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)		71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	28.6%
			ウ. 介護サービス利用者に必要と考えられる診療科単科の医師					エ. 歯科医師				
全 体 (n=285)			12.3%	17.9%	18.6%	34.4%	16.8%	11.2%	13.0%	14.4%	42.8%	18.6%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)		15.4%	38.5%	7.7%	23.1%	15.4%	15.4%	7.7%	23.1%	38.5%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)		17.4%	15.1%	16.3%	36.0%	15.1%	4.7%	15.1%	16.3%	46.5%	17.4%
	歯科診療所 (n=80)		10.0%	10.0%	18.8%	40.0%	21.3%	27.5%	11.3%	13.8%	22.5%	25.0%
	薬局 (n=82)		7.3%	17.1%	20.7%	37.8%	17.1%	1.2%	3.7%	12.2%	65.9%	17.1%
	訪問看護ステーション (n=15)		26.7%	46.7%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	53.3%	13.3%	20.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)		0.0%	37.5%	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%	25.0%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)		17.9%	18.9%	13.7%	34.7%	14.7%	5.3%	15.8%	15.8%	46.3%	16.8%
	歯科医師 (n=81)		9.9%	9.9%	18.5%	39.5%	22.2%	27.2%	11.1%	13.6%	22.2%	25.9%
	薬剤師 (n=83)		7.2%	16.9%	20.5%	38.6%	16.9%	1.2%	3.6%	12.0%	66.3%	16.9%
	看護師 (n=9)		33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	44.4%	11.1%	22.2%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)		16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)		0.0%	14.3%	57.1%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%
			オ. 薬剤師					カ. 病院の地域連携室 (医療ソーシャルワーカー)				
全 体 (n=285)			18.2%	13.7%	18.2%	27.4%	22.5%	12.6%	16.8%	17.2%	37.2%	16.1%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)		53.8%	7.7%	0.0%	15.4%	23.1%	38.5%	15.4%	7.7%	23.1%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)		20.9%	14.0%	19.8%	27.9%	17.4%	12.8%	20.9%	22.1%	30.2%	14.0%
	歯科診療所 (n=80)		10.0%	10.0%	23.8%	35.0%	21.3%	7.5%	16.3%	12.5%	42.5%	21.3%
	薬局 (n=82)		11.0%	13.4%	15.9%	26.8%	32.9%	2.4%	8.5%	20.7%	52.4%	15.9%
	訪問看護ステーション (n=15)		46.7%	33.3%	6.7%	13.3%	0.0%	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)		25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)		25.3%	13.7%	16.8%	27.4%	16.8%	14.7%	21.1%	21.1%	29.5%	13.7%
	歯科医師 (n=81)		9.9%	9.9%	23.5%	34.6%	22.2%	7.4%	16.0%	12.3%	42.0%	22.2%
	薬剤師 (n=83)		10.8%	13.3%	15.7%	26.5%	33.7%	2.4%	8.4%	20.5%	53.0%	15.7%
	看護師 (n=9)		55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)		50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)		28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%
			キ. 地域包括支援センター					ク. 訪問看護ステーション				
全 体 (n=285)			19.6%	22.1%	17.2%	25.3%	15.8%	24.2%	20.4%	10.5%	29.8%	15.1%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)		23.1%	30.8%	15.4%	15.4%	15.4%	46.2%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)		26.7%	23.3%	17.4%	17.4%	15.1%	31.4%	25.6%	10.5%	18.6%	14.0%
	歯科診療所 (n=80)		7.5%	16.3%	20.0%	37.5%	18.8%	11.3%	12.5%	11.3%	46.3%	18.8%
	薬局 (n=82)		12.2%	24.4%	18.3%	30.5%	14.6%	17.1%	20.7%	14.6%	34.1%	13.4%
	訪問看護ステーション (n=15)		53.3%	33.3%	6.7%	0.0%	6.7%	53.3%	33.3%	0.0%	6.7%	6.7%
	病院の退院支援担当者 (n=8)		75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)		26.3%	25.3%	15.8%	17.9%	14.7%	33.7%	25.3%	8.4%	18.9%	13.7%
	歯科医師 (n=81)		7.4%	16.0%	19.8%	37.0%	19.8%	11.1%	12.3%	11.1%	45.7%	19.8%
	薬剤師 (n=83)		12.0%	24.1%	19.3%	30.1%	14.5%	16.9%	20.5%	14.5%	34.9%	13.3%
	看護師 (n=9)		55.6%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
	訪問看護師 (n=6)		50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)		71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%

		ケ.ケアマネジャー (介護支援専門員)					コ.ホームヘルパー(訪問介護士)				
		連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答	連携している	少しは連携している	あまり連携していない	連携していない	無回答
全 体 (n=285)		28.1%	21.1%	12.6%	23.9%	14.4%	10.2%	19.3%	22.5%	33.0%	15.1%
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有) (n=13)	38.5%	23.1%	7.7%	15.4%	15.4%	7.7%	30.8%	23.1%	23.1%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無) (n=86)	26.7%	27.9%	17.4%	16.3%	11.6%	9.3%	20.9%	25.6%	30.2%	14.0%
	歯科診療所 (n=80)	17.5%	15.0%	13.8%	33.8%	20.0%	8.8%	13.8%	20.0%	38.8%	18.8%
	薬局 (n=82)	23.2%	22.0%	11.0%	30.5%	13.4%	7.3%	14.6%	23.2%	40.2%	14.6%
	訪問看護ステーション (n=15)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	27.4%	29.5%	14.7%	16.8%	11.6%	8.4%	22.1%	26.3%	29.5%	13.7%
	歯科医師 (n=81)	17.3%	14.8%	13.6%	33.3%	21.0%	8.6%	13.6%	19.8%	38.3%	19.8%
	薬剤師 (n=83)	22.9%	21.7%	12.0%	30.1%	13.3%	7.2%	14.5%	22.9%	41.0%	14.5%
	看護師 (n=9)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	57.1%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%	28.6%
		サ.通所介護					シ.訪問・通所リハビリテーション				
全 体 (n=285)		8.4%	13.7%	22.5%	39.6%	15.8%	10.2%	14.0%	20.4%	40.7%	14.7%
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有) (n=13)	7.7%	30.8%	15.4%	30.8%	15.4%	15.4%	30.8%	7.7%	30.8%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無) (n=86)	11.6%	16.3%	26.7%	30.2%	15.1%	16.3%	23.3%	20.9%	27.9%	11.6%
	歯科診療所 (n=80)	6.3%	10.0%	18.8%	46.3%	18.8%	6.3%	6.3%	20.0%	48.8%	18.8%
	薬局 (n=82)	2.4%	7.3%	19.5%	54.9%	15.9%	1.2%	6.1%	17.1%	59.8%	15.9%
	訪問看護ステーション (n=15)	33.3%	40.0%	26.7%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	12.5%	12.5%	37.5%	12.5%	25.0%	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	10.5%	17.9%	26.3%	30.5%	14.7%	15.8%	24.2%	20.0%	28.4%	11.6%
	歯科医師 (n=81)	6.2%	9.9%	18.5%	45.7%	19.8%	6.2%	6.2%	19.8%	48.1%	19.8%
	薬剤師 (n=83)	2.4%	7.2%	19.3%	55.4%	15.7%	1.2%	6.0%	16.9%	60.2%	15.7%
	看護師 (n=9)	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	28.6%	14.3%	14.3%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%
		ス.短期入所生活介護 (ショートステイ)					セ.特別養護老人ホーム				
全 体 (n=285)		6.3%	13.3%	18.6%	45.6%	16.1%	8.4%	12.3%	16.8%	46.3%	16.1%
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有) (n=13)	7.7%	38.5%	15.4%	23.1%	15.4%	15.4%	23.1%	15.4%	30.8%	15.4%
	一般診療所(在宅支援・届出無) (n=86)	10.5%	19.8%	16.3%	39.5%	14.0%	7.0%	10.5%	22.1%	46.5%	14.0%
	歯科診療所 (n=80)	3.8%	8.8%	17.5%	50.0%	20.0%	12.5%	20.0%	13.8%	33.8%	20.0%
	薬局 (n=82)	0.0%	7.3%	14.6%	62.2%	15.9%	2.4%	4.9%	11.0%	65.9%	15.9%
	訪問看護ステーション (n=15)	26.7%	13.3%	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	13.3%	26.7%	40.0%	6.7%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	12.5%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	25.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	9.5%	22.1%	16.8%	37.9%	13.7%	8.4%	12.6%	20.0%	45.3%	13.7%
	歯科医師 (n=81)	3.7%	8.6%	17.3%	49.4%	21.0%	12.3%	19.8%	13.6%	33.3%	21.0%
	薬剤師 (n=83)	0.0%	7.2%	14.5%	62.7%	15.7%	2.4%	4.8%	10.8%	66.3%	15.7%
	看護師 (n=9)	33.3%	22.2%	33.3%	0.0%	11.1%	22.2%	22.2%	33.3%	11.1%	11.1%
	訪問看護師 (n=6)	16.7%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	28.6%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	28.6%
		ソ.介護老人保健施設									
全 体 (n=285)		8.1%	11.6%	17.5%	46.7%	16.1%					
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有) (n=13)	15.4%	15.4%	23.1%	30.8%	15.4%					
	一般診療所(在宅支援・届出無) (n=86)	10.5%	10.5%	22.1%	43.0%	14.0%					
	歯科診療所 (n=80)	8.8%	15.0%	18.8%	37.5%	20.0%					
	薬局 (n=82)	1.2%	4.9%	9.8%	68.3%	15.9%					
	訪問看護ステーション (n=15)	13.3%	13.3%	33.3%	33.3%	6.7%					
	病院の退院支援担当者 (n=8)	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%					
職種 (6種)	医師 (n=95)	10.5%	11.6%	21.1%	43.2%	13.7%					
	歯科医師 (n=81)	8.6%	14.8%	18.5%	37.0%	21.0%					
	薬剤師 (n=83)	1.2%	4.8%	9.6%	68.7%	15.7%					
	看護師 (n=9)	22.2%	11.1%	44.4%	11.1%	11.1%					
	訪問看護師 (n=6)	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	0.0%					
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	28.6%	42.9%	0.0%	0.0%	28.6%					

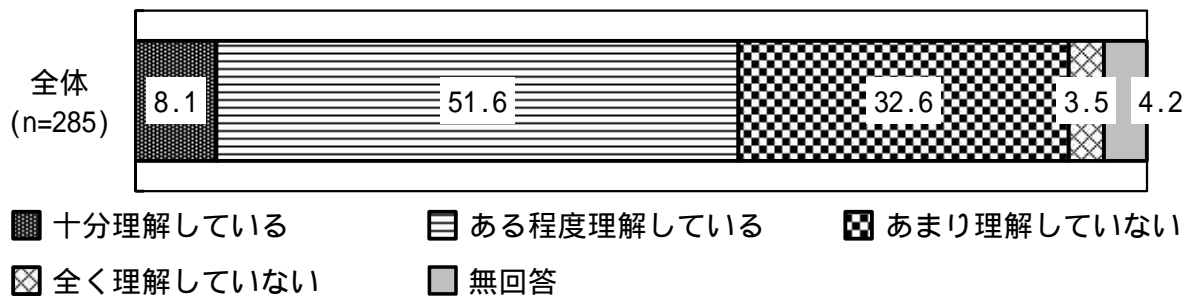


## 問7 あなたは、介護保険制度及び介護保険サービスの内容についてどの程度理解していますか。

(1つに)

- ・「十分理解している」(8.1%)、「ある程度理解している」(51.6%)を合わせた割合は59.7%となっている。
- ・一方、「あまり理解していない」(32.6%)、「全く理解していない」(3.5%)を合わせた割合は36.1%となっている。
- ・『訪問看護ステーション』では、「十分理解している」(26.7%)、「ある程度理解している」(66.7%)を合わせた割合は93.4%となっている。

(%)

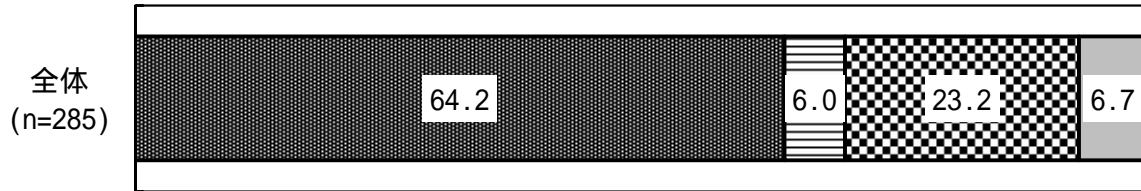


		十分理解 している	ある程度 理解して いる	あまり理 解してい ない	全く理解 していな い	無回答
全 体 (n=285)		8.1%	51.6%	32.6%	3.5%	4.2%
所属医療 機関 ( 6 種 )	一般診療所（在宅支援・届出有） (n=13)	0.0%	84.6%	7.7%	0.0%	7.7%
	一般診療所（在宅支援・届出無） (n=86)	14.0%	48.8%	30.2%	2.3%	4.7%
	歯科診療所 (n=80)	3.8%	43.8%	41.3%	7.5%	3.8%
	薬局 (n=82)	3.7%	52.4%	37.8%	2.4%	3.7%
	訪問看護ステーション (n=15)	26.7%	66.7%	6.7%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	12.5%	62.5%	12.5%	0.0%	12.5%
職種 ( 6 種 )	医師 (n=95)	11.6%	52.6%	29.5%	2.1%	4.2%
	歯科医師 (n=81)	3.7%	43.2%	40.7%	7.4%	4.9%
	薬剤師 (n=83)	3.6%	53.0%	37.3%	2.4%	3.6%
	看護師 (n=9)	11.1%	77.8%	11.1%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	14.3%

## 問8 あなたは、在宅医療に関してどのようにお考えですか。（1つに ）

- ・「関心がある」が64.2%、「積極的に関わりたい」が6.0%、「関心がない」が23.2%となっている。
- ・「関心がない」は、『医師』では35.8%、『歯科医師』では23.5%、『薬剤師』では14.5%となっている。

（％）



■ 関心がある   ■ 積極的に関わりたい   ■ 関心がない   ■ 無回答

		関心がある	積極的に関わりたい	関心がない	無回答
全 体 (n=285)		64.2%	6.0%	23.2%	6.7%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	69.2%	15.4%	0.0%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	50.0%	4.7%	39.5%	5.8%
	歯科診療所 (n=80)	63.8%	3.8%	23.8%	8.8%
	薬局 (n=82)	75.6%	4.9%	14.6%	4.9%
	訪問看護ステーション (n=15)	73.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	75.0%	0.0%	12.5%	12.5%
職種 (6種)	医師 (n=95)	52.6%	5.3%	35.8%	6.3%
	歯科医師 (n=81)	63.0%	3.7%	23.5%	9.9%
	薬剤師 (n=83)	75.9%	4.8%	14.5%	4.8%
	看護師 (n=9)	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	訪問看護師 (n=6)	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	71.4%	14.3%	0.0%	14.3%

## 問8で「2. 積極的に関わりたい」とお答えの方におたずねします

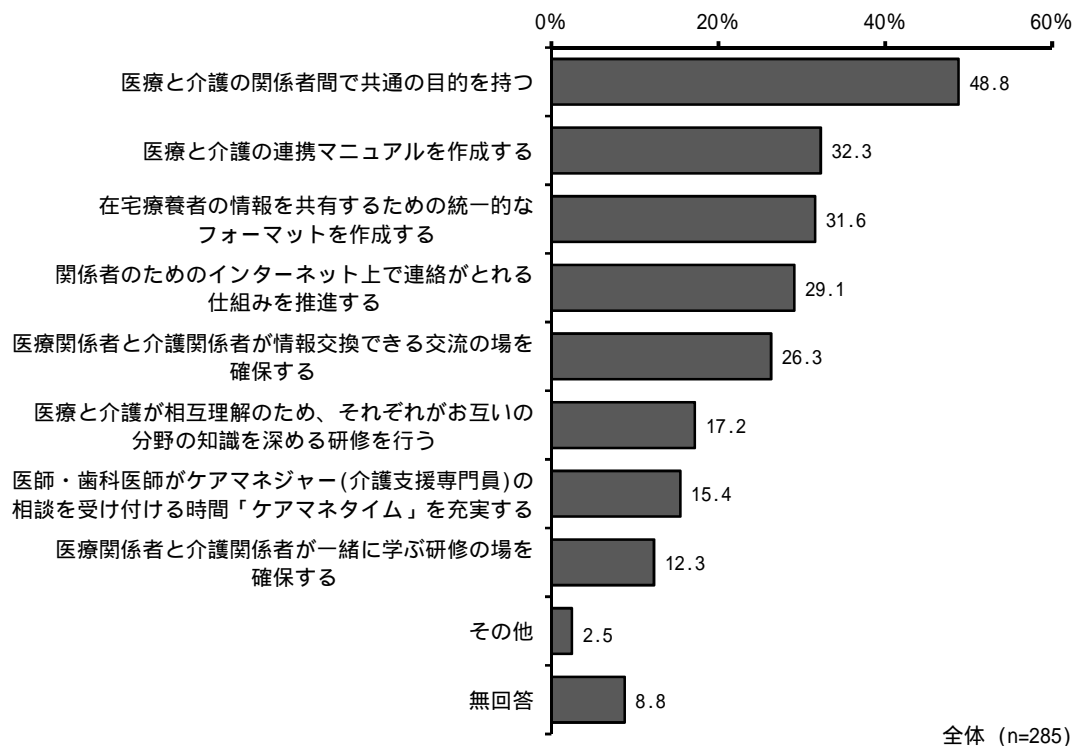
## 問8-1 あなたは、どのように関わりたいとお考えですか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、16件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
在宅医療 (医科・歯科・薬科・看護)	11
介護との連携	4
その他	1

## 問9 あなたは、医療職と介護職が連携するために、どのようなことが充実するとよいと思いますか。 (3つまでに)

- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」(48.8%)が最も多く、次いで「医療と介護の連携マニュアルを作成する」(32.3%)、「在宅療養者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する」(31.6%)、「関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する」(29.1%)、「医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する」(26.3%)と続いている。
- ・「医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ」は、『一般診療所（在宅療養支援診療所としての届出有）』では76.9%となっている。

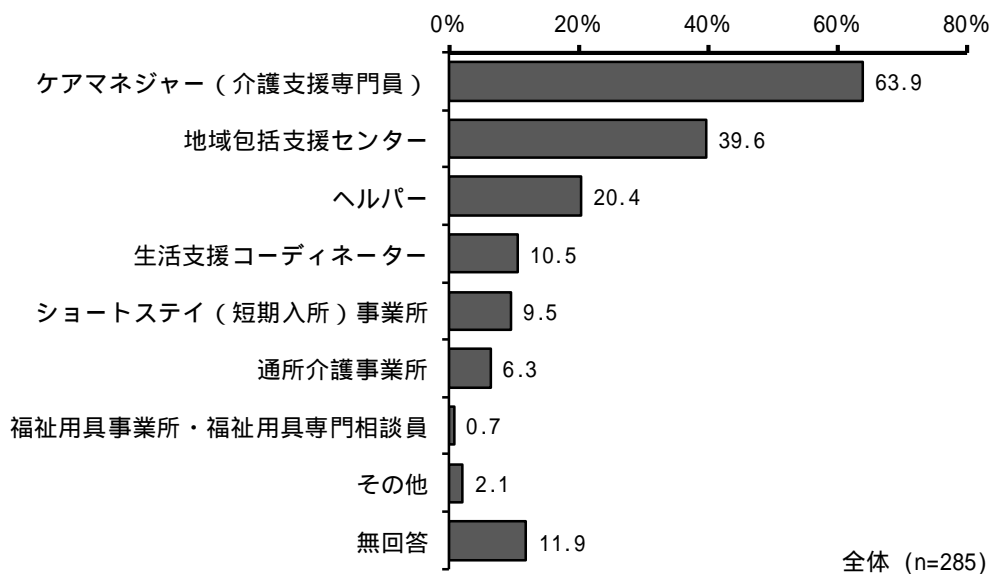


		医療と介護の関係者間で共通の目的を持つ	医療と介護の連携マニュアルを作成する	在宅療養者の情報を共有するための統一フォーマットを作成する	関係者のためのインターネット上で連絡がとれる仕組みを推進する	医療関係者と介護関係者が情報交換できる交流の場を確保する	医療と介護が相互理解のため、それぞれがお互いの分野の知識を深める研修を行う	医師・歯科医師がケアマネジャー(介護支援専門員)の相談を受け付ける時間「ケアマネタイム」を充実する	医療関係者と介護関係者が一緒に学ぶ研修の場を確保する	その他	無回答
全 体	(n=285)	48.8%	32.3%	31.6%	29.1%	26.3%	17.2%	15.4%	12.3%	2.5%	8.8%
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=13) 76.9%	7.7%	23.1%	15.4%	38.5%	0.0%	30.8%	23.1%	0.0%	7.7%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=86) 50.0%	14.0%	29.1%	38.4%	19.8%	10.5%	27.9%	8.1%	2.3%	11.6%
	歯科診療所	(n=80) 43.8%	25.0%	33.8%	40.0%	21.3%	16.3%	21.3%	22.5%	2.5%	7.5%
	薬局	(n=82) 42.7%	8.5%	32.9%	25.6%	32.9%	13.4%	37.8%	19.5%	2.4%	7.3%
	訪問看護ステーション	(n=15) 66.7%	13.3%	20.0%	13.3%	40.0%	13.3%	33.3%	33.3%	6.7%	6.7%
	病院の退院支援担当者	(n=8) 62.5%	12.5%	62.5%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%
職種 (6種)	医師	(n=95) 53.7%	12.6%	28.4%	34.7%	23.2%	8.4%	28.4%	9.5%	2.1%	10.5%
	歯科医師	(n=81) 43.2%	24.7%	33.3%	39.5%	21.0%	16.0%	21.0%	22.2%	2.5%	8.6%
	薬剤師	(n=83) 43.4%	8.4%	32.5%	26.5%	32.5%	13.3%	37.3%	20.5%	2.4%	7.2%
	看護師	(n=9) 88.9%	11.1%	22.2%	11.1%	44.4%	22.2%	33.3%	22.2%	11.1%	0.0%
	訪問看護師	(n=6) 50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	50.0%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7) 57.1%	28.6%	57.1%	28.6%	14.3%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	14.3%

## 問10 在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える事業所や介護職は何ですか。

(2つまでに)

- ・「ケアマネジャー（介護支援専門員）」(63.9%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(39.6%)、「ヘルパー」(20.4%)と続いている。
- ・「地域包括支援センター」の割合は、『訪問看護師』では0.0%、『医師』では47.4%と、職種による差がみられる。

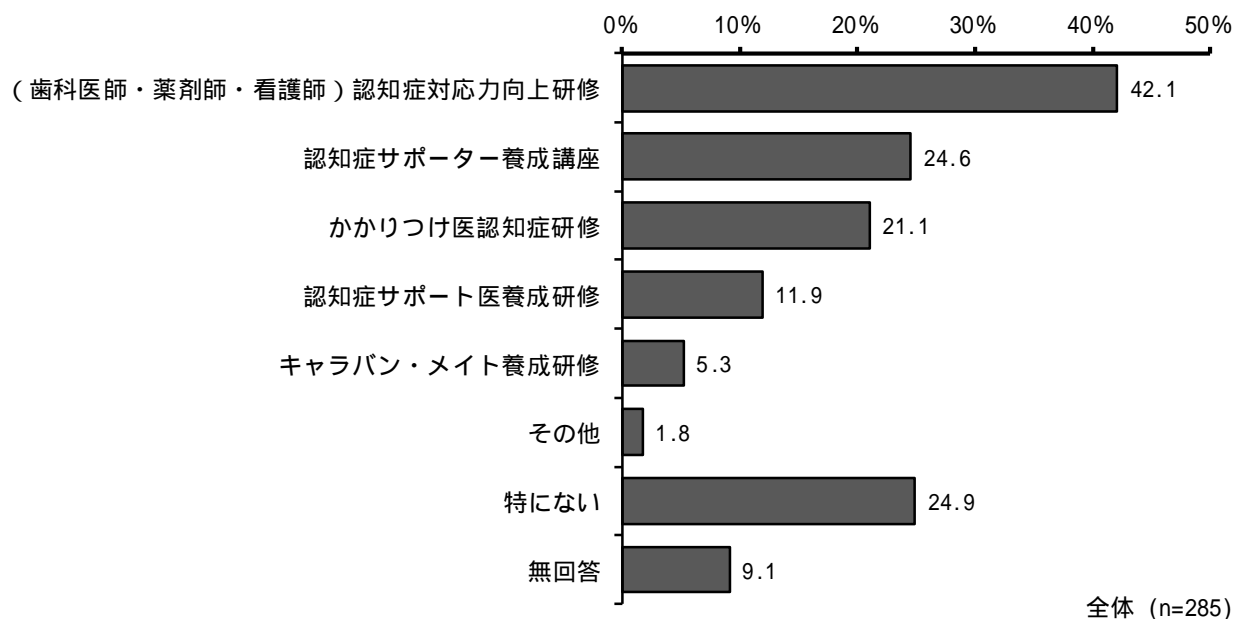


		ケアマネジャー (介護支援専門員)	地域包括支援センター	ショートステイ (短期入所)事業所	通所介護事業所	ヘルパー	生活支援コーディネーター	福祉用具事業所・福祉用具専門相談員	その他	無回答
全 体	(n=285)	63.9%	39.6%	9.5%	6.3%	20.4%	10.5%	0.7%	2.1%	11.9%
所属医療機関 (6種)	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=13) 76.9%	46.2%	7.7%	7.7%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=86) 66.3%	47.7%	12.8%	4.7%	16.3%	12.8%	0.0%	1.2%	10.5%
	歯科診療所	(n=80) 61.3%	32.5%	10.0%	6.3%	21.3%	11.3%	0.0%	1.3%	16.3%
	薬局	(n=82) 59.8%	42.7%	6.1%	7.3%	20.7%	8.5%	2.4%	2.4%	11.0%
	訪問看護ステーション	(n=15) 73.3%	13.3%	6.7%	13.3%	53.3%	6.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8) 75.0%	37.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%	12.5%
職種 (6種)	医師	(n=95) 67.4%	47.4%	11.6%	4.2%	16.8%	12.6%	0.0%	1.1%	9.5%
	歯科医師	(n=81) 60.5%	32.1%	9.9%	6.2%	21.0%	11.1%	0.0%	1.2%	17.3%
	薬剤師	(n=83) 60.2%	43.4%	6.0%	7.2%	20.5%	8.4%	2.4%	2.4%	10.8%
	看護師	(n=9) 77.8%	33.3%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	訪問看護師	(n=6) 66.7%	0.0%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7) 85.7%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%

## 問11 あなたは今後、次のような認知症や認知症の介護に関する研修があれば受けていたいですか。

(いくつでも)

- ・「(歯科医師・薬剤師・看護師)認知症対応力向上研修」(42.1%)が最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」(24.6%)、「かかりつけ医認知症研修」(21.1%)と続いている。
- ・一方、「特にない」は24.9%となっている。
- ・「認知症サポーター養成講座」は、『薬剤師』(32.5%)、『看護師』(33.3%)、『訪問看護師』(66.7%)の割合が高くなっている。

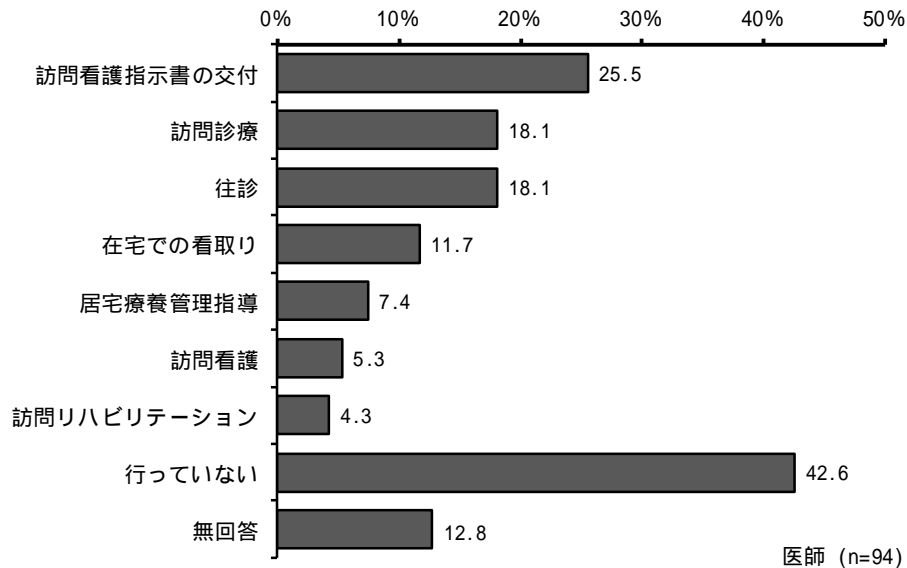


			認知症サポーター養成講座	キャラバン・メイト養成研修	かかりつけ医認知症研修	認知症サポート医養成研修	師(歯科医師・薬剤師・看護師)認知症対応力向上研修	その他	特にない	無回答
全 体 (n=285)			24.6%	5.3%	21.1%	11.9%	42.1%	1.8%	24.9%	9.1%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有)	(n=13)	30.8%	0.0%	23.1%	15.4%	38.5%	0.0%	23.1%	15.4%
	一般診療所 (在宅支援・届出無)	(n=86)	8.1%	0.0%	32.6%	12.8%	2.3%	2.3%	40.7%	12.8%
	歯科診療所	(n=80)	28.8%	7.5%	16.3%	12.5%	63.8%	0.0%	17.5%	10.0%
	薬局	(n=82)	32.9%	8.5%	11.0%	9.8%	63.4%	1.2%	15.9%	4.9%
	訪問看護ステーション	(n=15)	33.3%	13.3%	33.3%	20.0%	60.0%	13.3%	13.3%	0.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	37.5%	0.0%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	50.0%	12.5%
職種 (6種)	医師	(n=95)	9.5%	0.0%	31.6%	12.6%	5.3%	2.1%	41.1%	12.6%
	歯科医師	(n=81)	28.4%	7.4%	16.0%	12.3%	63.0%	0.0%	17.3%	11.1%
	薬剤師	(n=83)	32.5%	8.4%	10.8%	9.6%	63.9%	1.2%	15.7%	4.8%
	看護師	(n=9)	33.3%	11.1%	44.4%	11.1%	66.7%	11.1%	11.1%	0.0%
	訪問看護師	(n=6)	66.7%	16.7%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%

### (3) 診療所（医師の方）について

#### 問12 現在、あなたの診療所が行っている在宅医療はどれですか。（いくつでも）

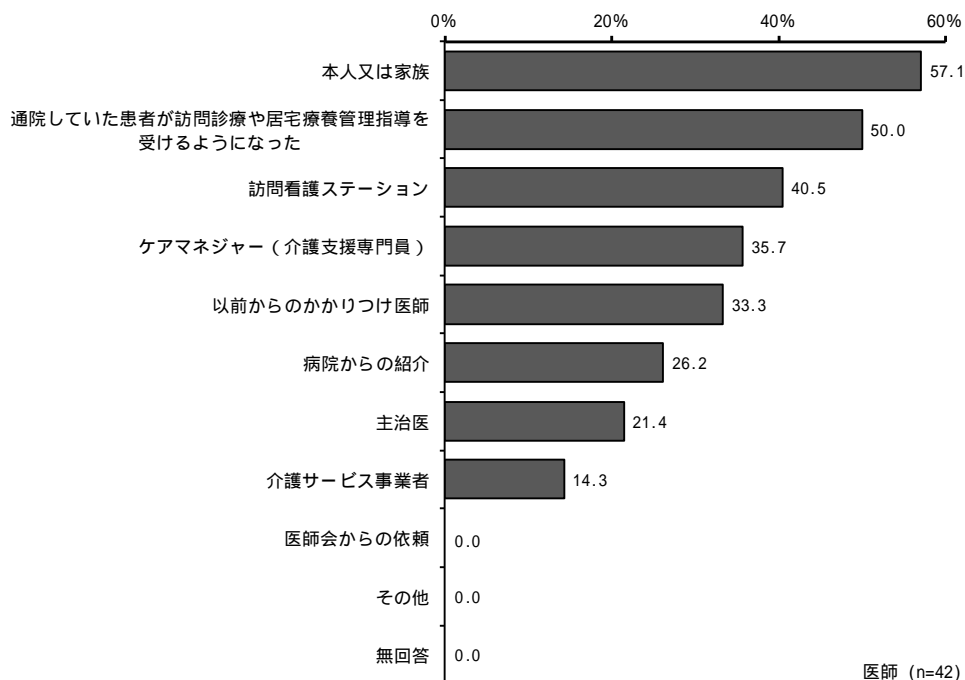
- ・「訪問看護指示書の交付」(25.5%)が最も多く、次いで「訪問診療」「往診」(ともに18.1%)、「在宅での看取り」(11.7%)、「居宅療養管理指導」(7.4%)と続いている。
- ・一方、「行っていない」は42.6%となっている。



問12で「訪問診療」「往診」「在宅での看取り」「居宅療養管理指導」「訪問看護」「訪問看護指示書の交付」「訪問リハビリテーション」とお答えの方におたずねします

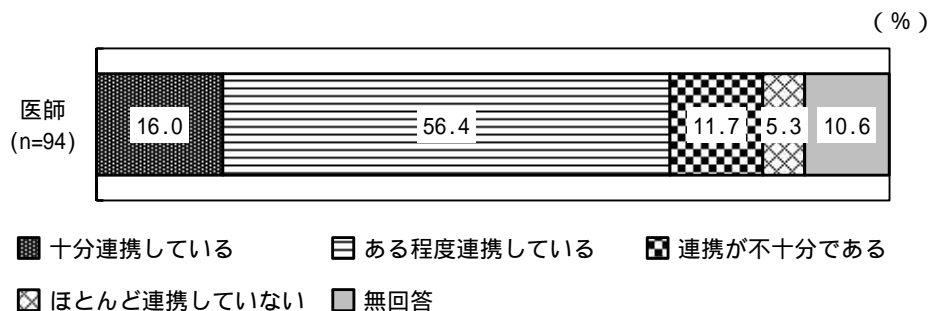
#### 問12-1 訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも）

- ・「本人又は家族」(57.1%)が最も多く、次いで「通院していた患者が訪問診療や居宅療養管理指導を受けるようになった」(50.0%)、「訪問看護ステーション」(40.5%)、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」(35.7%)、「以前からのかかりつけ医師」(33.3%)と続いている。



## 問13 あなたの診療所と、他の医療機関との連携はとれていますか。(1つに)

- ・「十分連携している・ある程度連携している」の割合は72.4%となっている。一方、「連携が不十分である・ほとんど連携していない」の割合は17.0%となっている。



## 問14 あなたの診療所では、介護関係者との情報交換の機会を確保していますか。(1つに)

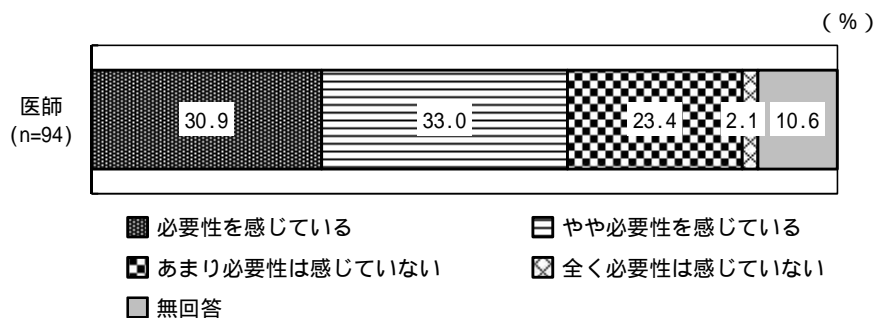
- ・「確保している」が30.9%、「確保していない」が60.6%となっている。



## 問15 あなたは、ケアプランの送付と受け取りの必要性についてどのようにお考えですか。

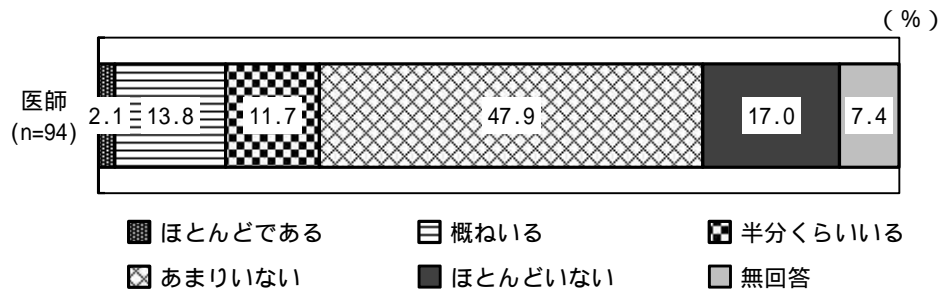
(1つに)

- ・「必要性を感じている」(30.9%)、「やや必要性を感じている」(33.0%)を合わせた割合は63.9%となっている。一方、「あまり必要性は感じていない」(23.4%)、「全く必要性は感じていない」(2.1%)を合わせた割合は25.5%となっている。



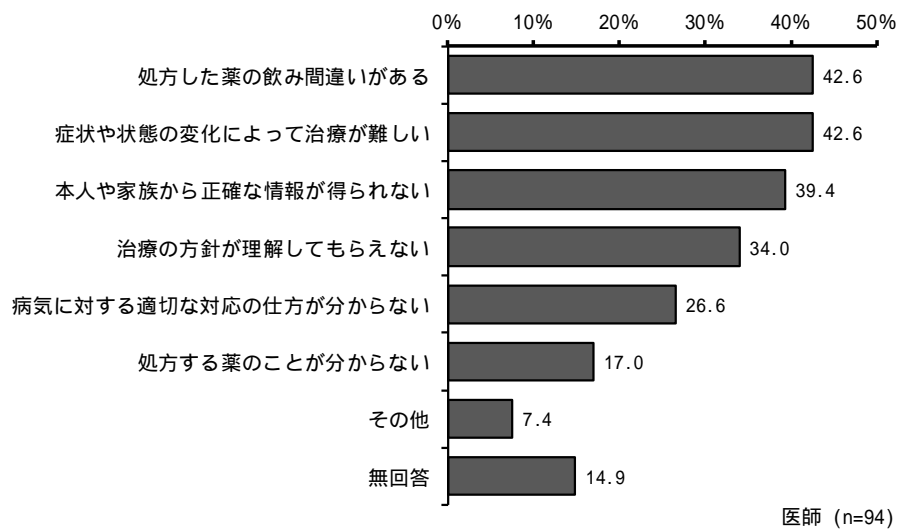
## 問16 あなたが担当している患者のうち、認知症の症状がある人はどの程度いますか。(1つに )

- ・「ほとんどである」(2.1%)、「概ねいる」(13.8%)を合わせた割合は15.9%となっている。一方、「あまりいない」(47.9%)、「ほとんどいない」(17.0%)を合わせた割合は64.9%となっている。



## 問17 あなたが、認知症の方を治療するときに困ることは何ですか。(いくつでも )

- ・「処方した薬の飲み間違いがある」と「症状や状態の変化によって治療が難しい」(ともに42.6%)が最も多く、次いで「本人や家族から正確な情報が得られない」(39.4%)、「治療の方針が理解してもらえない」(34.0%)、「病気に対する適切な対応の仕方が分からない」(26.6%)と続いている。



## 問18 あなたは、認知症サポート医に相談をしたことがありますか。(1つに )

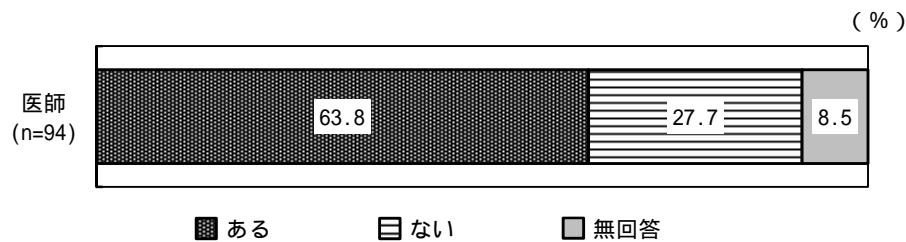
- ・「ある」が18.1%、「ない」が63.8%、「自分が認知症サポート医である」が9.6%となっている。





## 問 19 あなたは、認知症の方の治療を専門医に紹介することはありますか。(1つに )

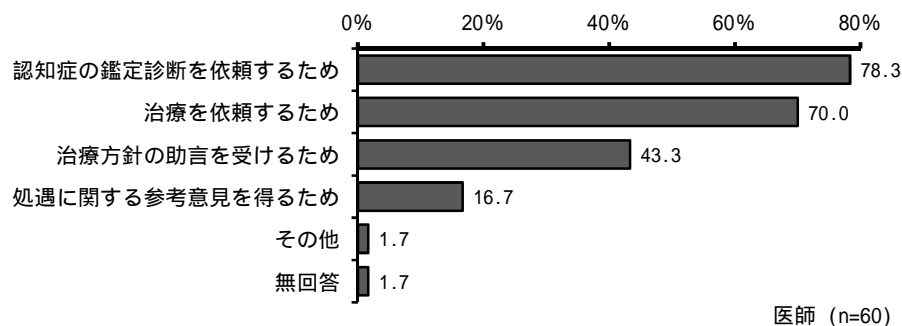
- ・「ある」が63.8%、「ない」が27.7%となっている。



## 問 19 で「ある」と回答した方におたずねします

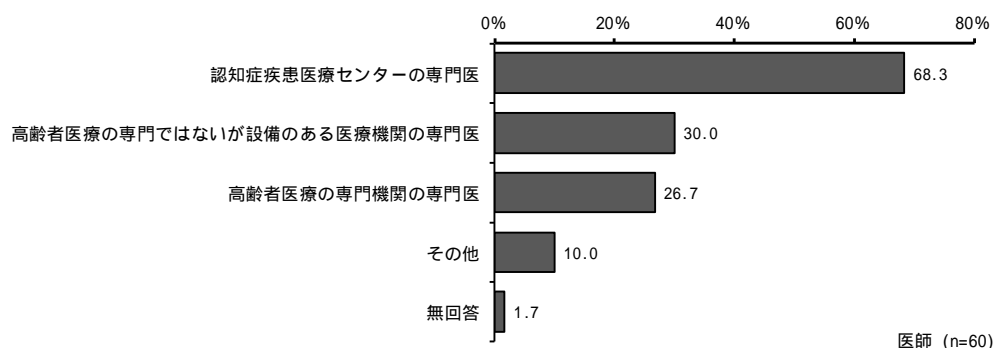
## 問 19-1 どのような目的で紹介をしますか。(いくつでも )

- ・「認知症の鑑定診断を依頼するため」(78.3%)が最も多く、次いで「治療を依頼するため」(70.0%)、「治療方針の助言を受けるため」(43.3%)と続いている。



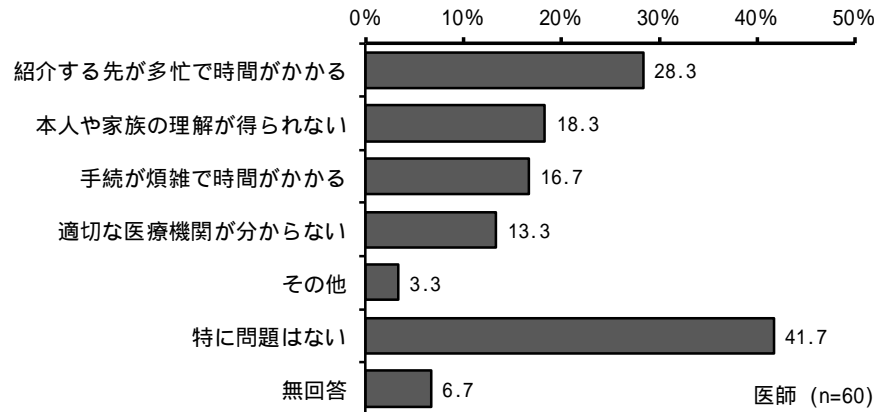
## 問 19-2 どのような機関の専門医ですか。(いくつでも )

- ・「認知症疾患医療センターの専門医」(68.3%)が最も多く、次いで「高齢者医療の専門ではないが設備のある医療機関の専門医」(30.0%)、「高齢者医療の専門機関の専門医」(26.7%)となっている。



## 問 19-3 そのときどのようなことが問題になりますか。(いくつでも)

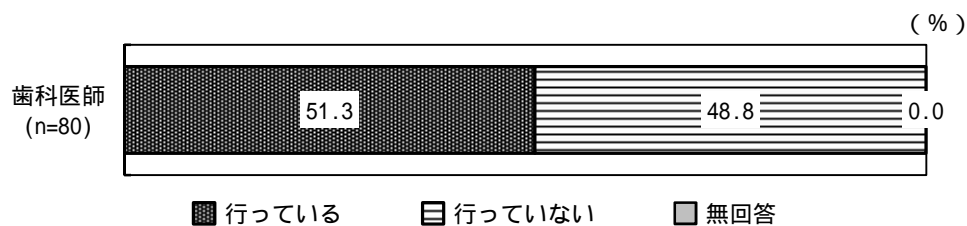
- ・「紹介する先が多忙で時間がかかる」(28.3%)が最も多く、次いで「本人や家族の理解が得られない」(18.3%)、「手順が煩雑で時間がかかる」(16.7%)、「適切な医療機関が分からない」(13.3%)と続いている。
- ・一方、「特に問題はない」は41.7%となっている。



## (4) 歯科診療所(歯科医師の方)について

## 問 20 あなたの歯科診療所では、訪問歯科診療や居宅療養管理指導を行っていますか。(1つに)

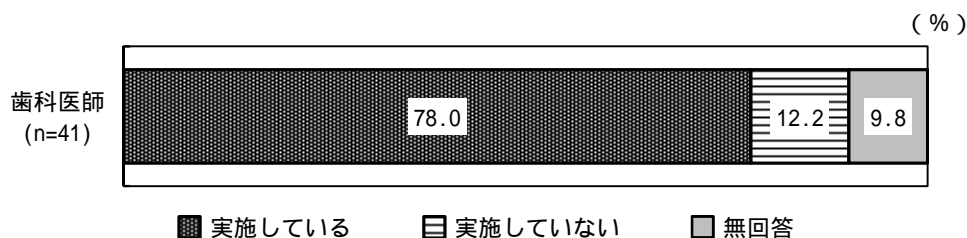
- ・「行っている」が51.3%、「行っていない」が48.8%となっている。



## 問 20 で「行っている」とお答えの方におたずねします

## 問 20-1 あなたの歯科診療所では、訪問時に口腔衛生指導等を実施していますか。(1つに)

- ・「実施している」が78.0%、「実施していない」が12.2%となっている。



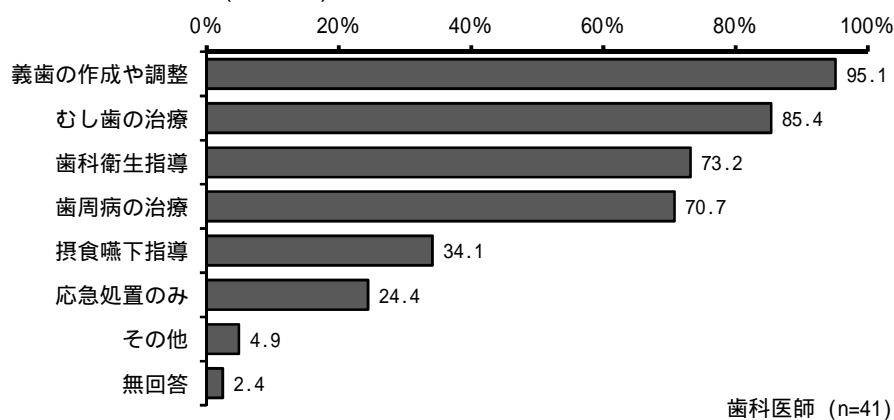
### 問 20-2 あなたの歯科診療所では、歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導を実施していますか。（1つに）

- ・「実施している」が73.2%、「実施していない」が24.4%となっている。



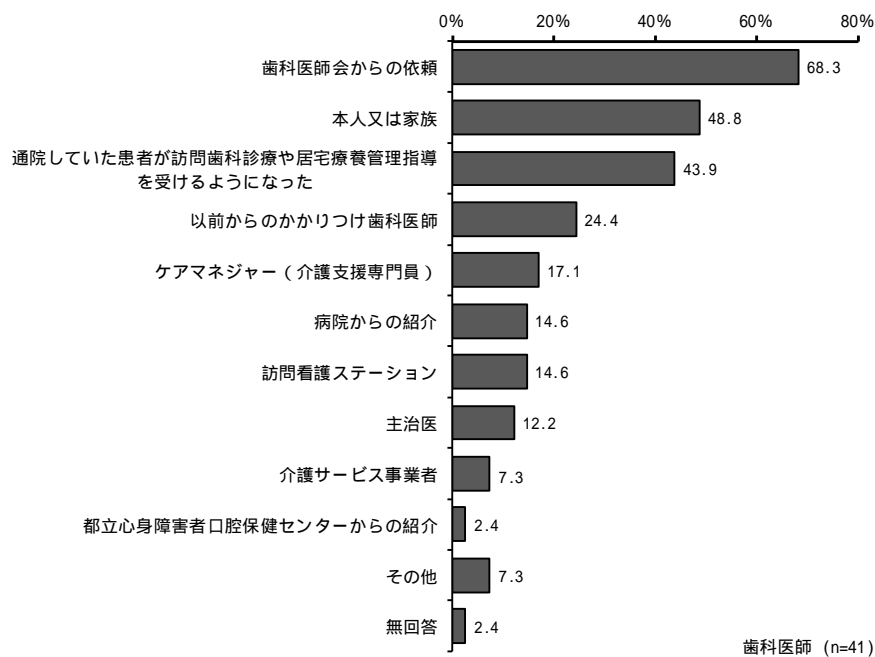
### 問 20-3 訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療は何ですか。（いくつでも）

- ・「義歯の作成や調整」(95.1%)が最も多く、次いで「むし歯の治療」(85.4%)、「歯科衛生指導」(73.2%)、「歯周病の治療」(70.7%)と続いている。



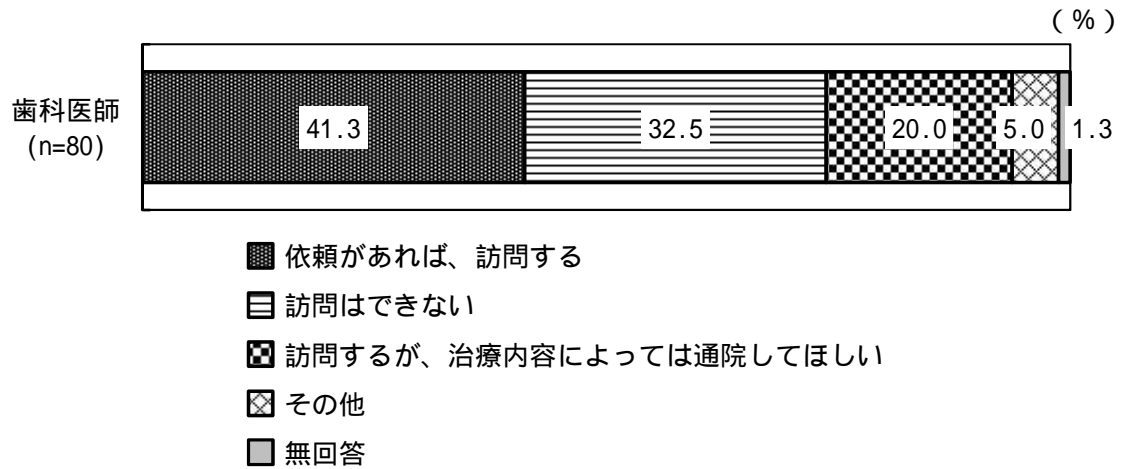
### 問 20-4 訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも）

- ・「歯科医師会からの依頼」(68.3%)が最も多く、次いで「本人又は家族」(48.8%)、「通院していた患者が訪問歯科診療や居宅療養管理指導を受けるようになった」(43.9%)と続いている。



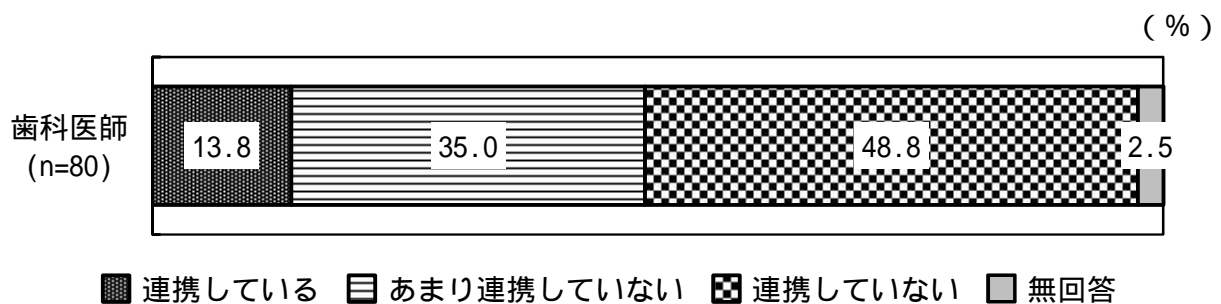
## 問21 今後、依頼があった場合に訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施は可能ですか。(1つに)

- ・「依頼があれば、訪問する」(41.3%)、「訪問するが、治療内容によっては通院してほしい」(20.0%)、「訪問はできない」(32.5%)となっている。



## 問22 あなたの歯科診療所では、在宅で療養生活を送っている府中市民の方の主治医(かかりつけ医)と連携していますか。(1つに)

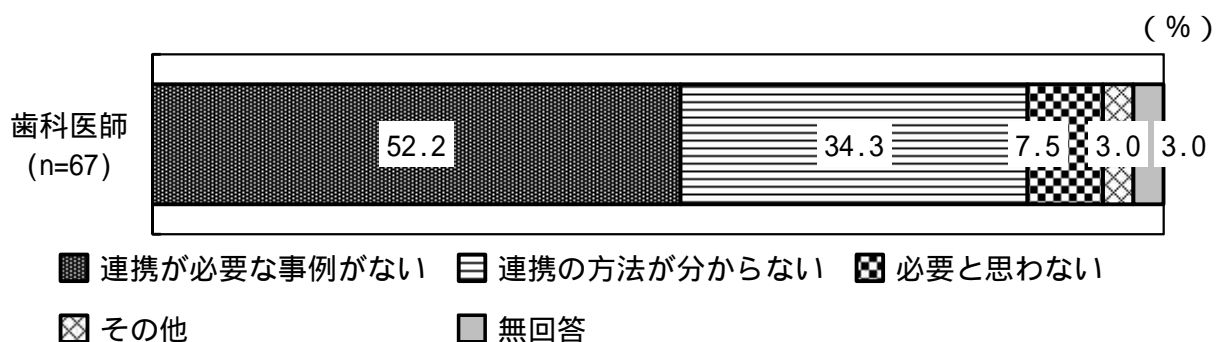
- ・「連携している」が13.8%、「あまり連携していない」が35.0%、「連携していない」が48.8%となっている。



問22で「あまり連携していない」又は「連携していない」とお答えの方におたずねします

## 問22-1 その理由は何ですか。(1つに)

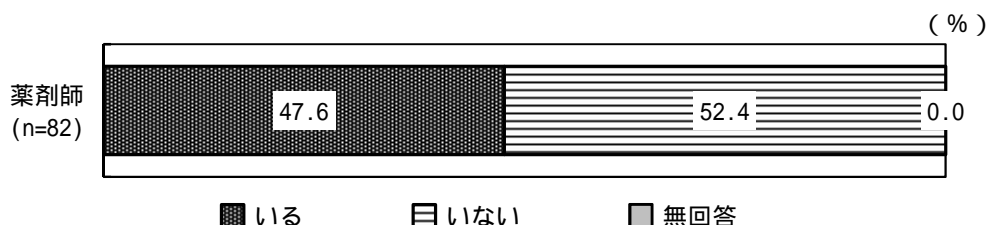
- ・「連携が必要な事例がない」が52.2%、「連携の方法が分からない」が34.3%、「必要と思わない」が7.5%となっている。



## (5) 薬局(薬剤師の方)について

問23 あなたの薬局を利用されている方の中に、現在、在宅患者訪問薬剤管理指導（居宅療養管理指導）を利用している府中市民はいますか。（1つに）

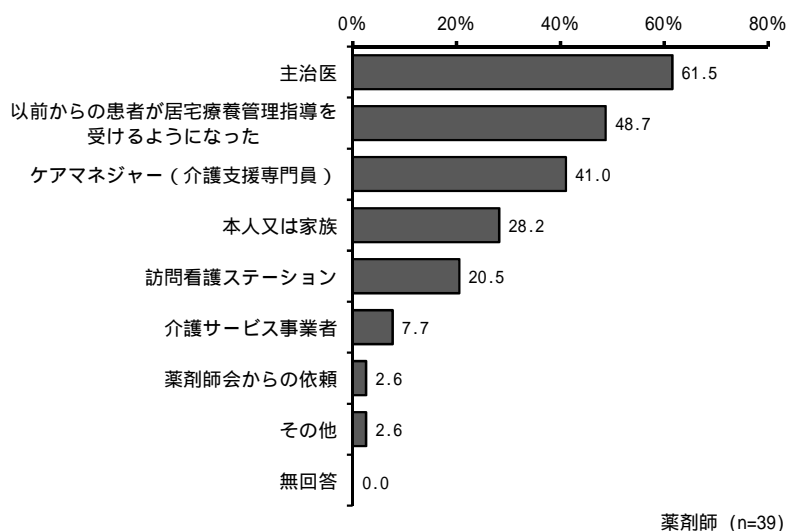
- ・「いる」が47.6%、「いない」が52.4%となっている。



問23で「いる」とお答えの方におたずねします

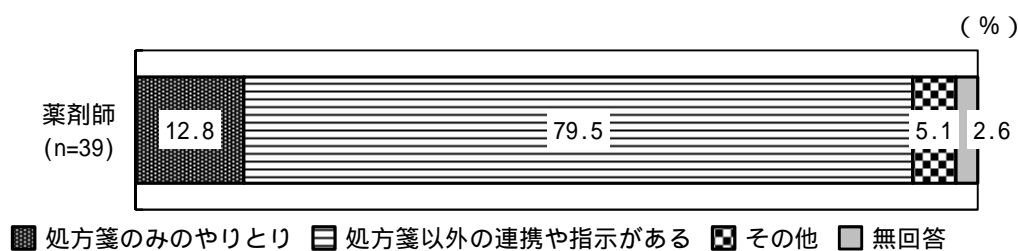
問23-1 居宅療養管理指導の依頼元はどこですか。（いくつでも）

- ・「主治医」(61.5%)が最も多く、次いで「以前からの患者が居宅療養管理指導を受けるようになった」(48.7%)、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」(41.0%)と続いている。



問23-2 あなたは、医師との連携をどのようにしていますか。（1つに）

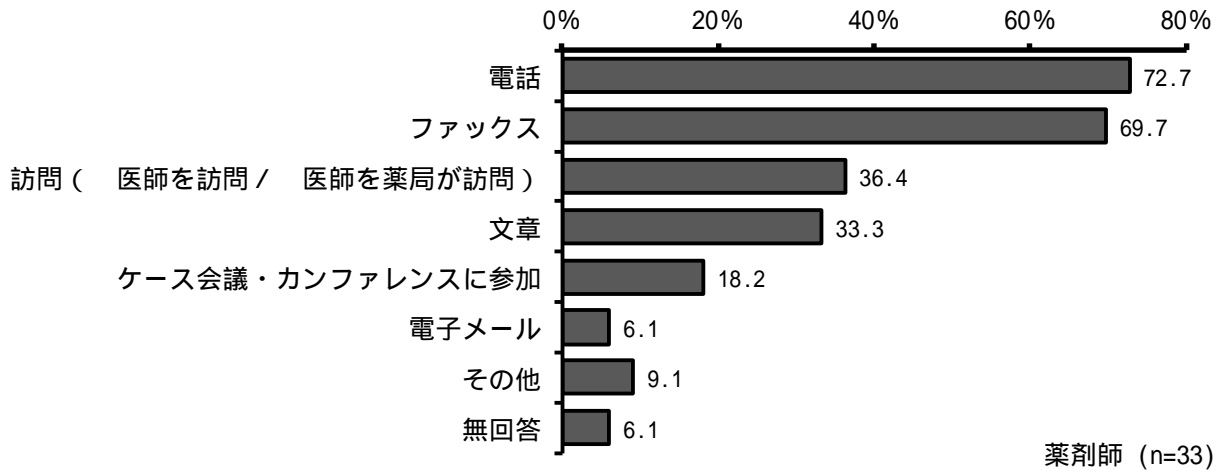
- ・「処方箋のみのやりとり」が12.8%、「処方箋以外の連携や指示がある」が79.5%となっている。



問 23- 2 で「処方箋以外の連携や指示がある」又は「その他」とお答えの方におたずねします

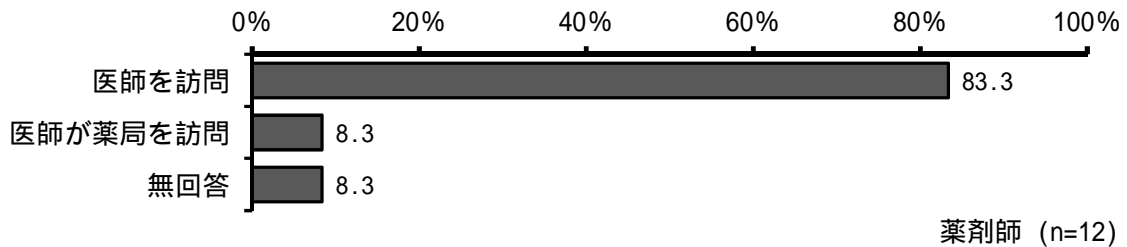
問 23- 3 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも )

- ・「電話」(72.7%)が最も多く、次いで「ファックス」(69.7%)、「訪問」(36.4%)、「文章」(33.3%)と続いている。



【訪問】の方法

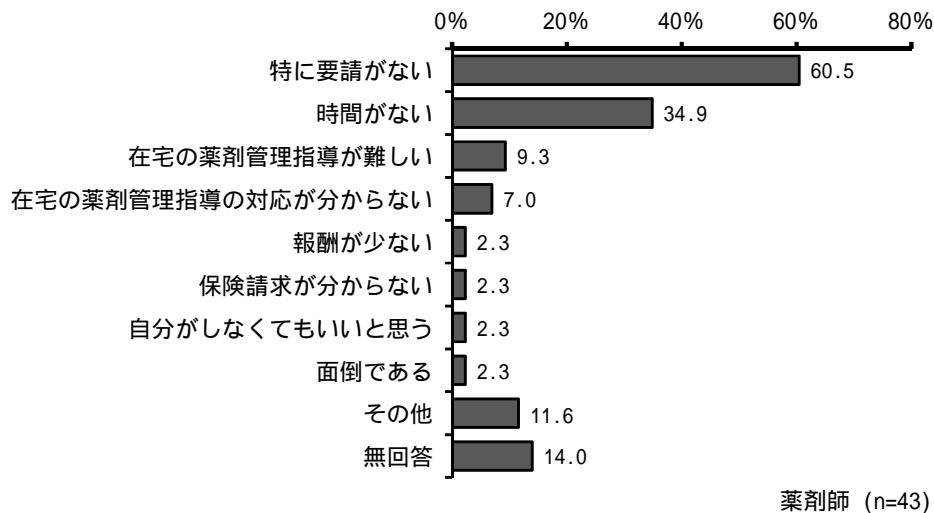
- ・「医師を訪問」が 83.3%、「医師が薬局を訪問」が 8.3%となっている。



問 23 で「いない」とお答えの方におたずねします

問 23- 4 いない理由は次のどれですか。(いくつでも )

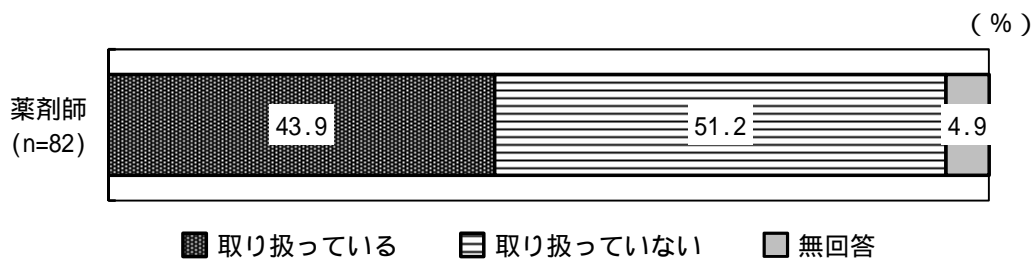
- ・「特に要請がない」(60.5%)が最も多く、次いで「時間がない」(34.9%)、「在宅の薬剤管理指導が難しい」(9.3%)、「在宅の薬剤管理指導の対応が分からない」(7.0%)と続いている。



問24 あなたは、府中市内で訪問診療を行う在宅療養支援診療所の処方箋を取り扱っていますか。

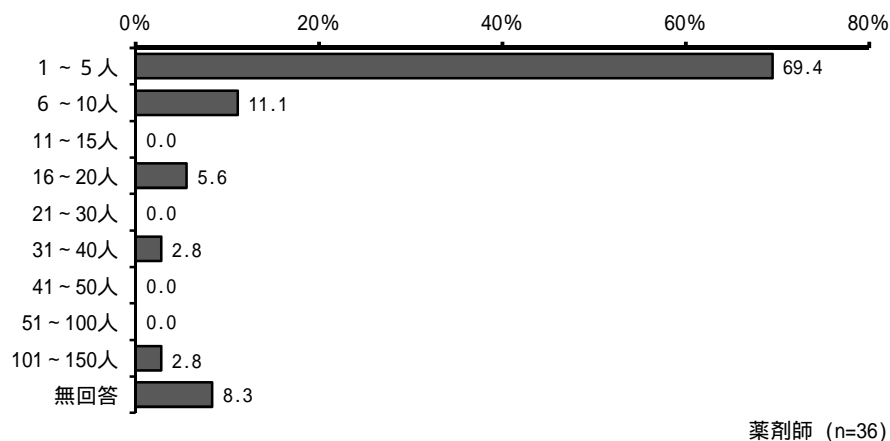
(1つに)

- ・「取り扱っている」が43.9%、「取り扱っていない」が51.2%となっている。



#### 【「取り扱っている」1か月平均の人数】

- ・「1～5人」(69.4%)が最も多く、次いで「6～10人」(11.1%)、「16～20人」(5.6%)、「31～40人」「101～150人」(ともに2.8%)と続いている。

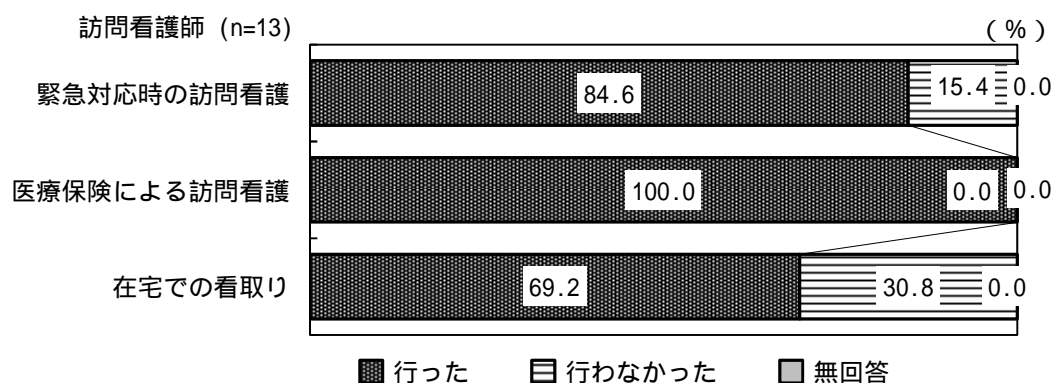


### (6) 訪問看護ステーション（訪問看護師の方）について

問25 あなたの訪問看護ステーションでの、令和元年9月中の活動状況をお答えください。

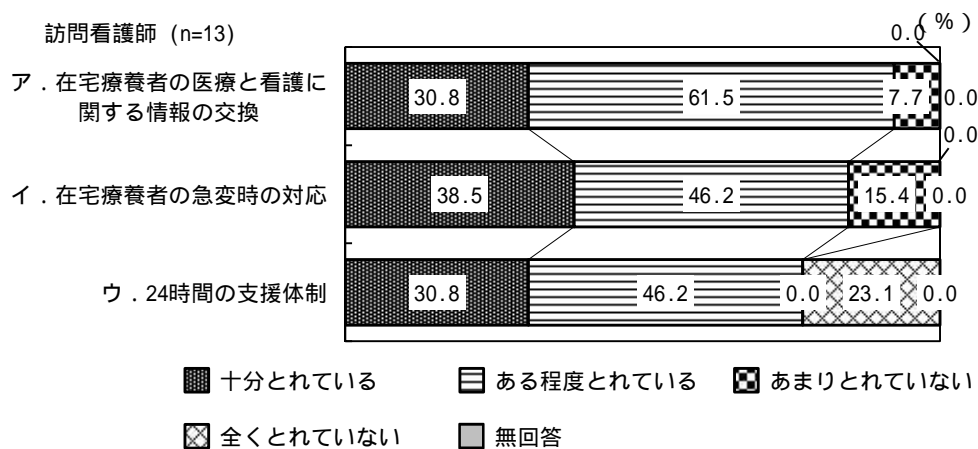
(～それぞれ1つに)

- ・「行った」割合は、『緊急対応時の訪問看護』が84.6%、『医療保険による訪問看護』が100.0%、『在宅での看取り』が69.2%となっている。



**問 26 あなたの訪問看護ステーションでは、在宅医療を実施している医療機関とどのような連携をとっていますか。（ア～ウそれぞれ1つに ）**

- ・『ア．在宅療養者の医療と看護に関する情報の交換』は、「十分とれている」(30.8%)、「ある程度とれている」(61.5%)を合わせた割合は92.3%となっている。一方、「あまりとれていない」(7.7%)、「全くとれていない」(0.0%)を合わせた割合は7.7%となっている。
- ・『イ．在宅療養者の急変時の対応』は、「十分とれている」(38.5%)、「ある程度とれている」(46.2%)を合わせた割合は84.7%となっている。一方、「あまりとれていない」(15.4%)、「全くとれていない」(0.0%)を合わせた割合は15.4%となっている。
- ・『ウ．24時間の支援体制』は、「十分とれている」(30.8%)、「ある程度とれている」(46.2%)を合わせた割合は77.0%となっている。一方、「あまりとれていない」(0.0%)、「全くとれていない」(23.1%)を合わせた割合は23.1%となっている。



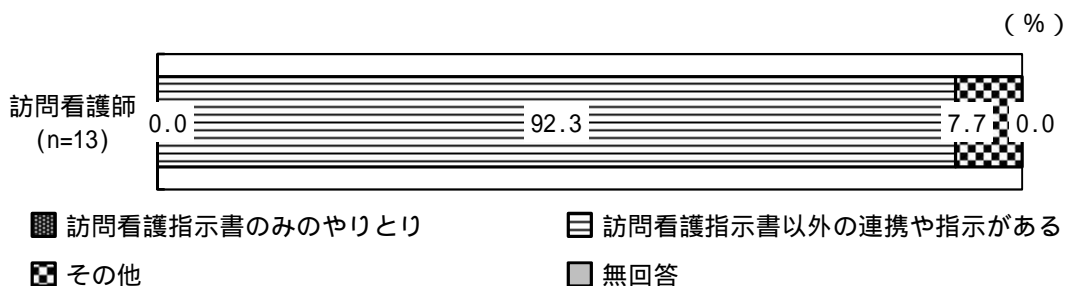
問 26 で、1つでも「あまりとれていない」又は「全くとれていない」とお答えの方におたずねします

**問 26-1 在宅医療を実施している医療機関との連携がとれていない理由として特筆すべきことがございましたら、ご自由にお書きください。**

自由回答形式で聞いたところ、4件の回答があった。

**問 27 あなたは、医師との連携をどのようにとっていますか。（1つに ）**

- ・「訪問看護指示書以外の連携や指示がある」が92.3%となっている。

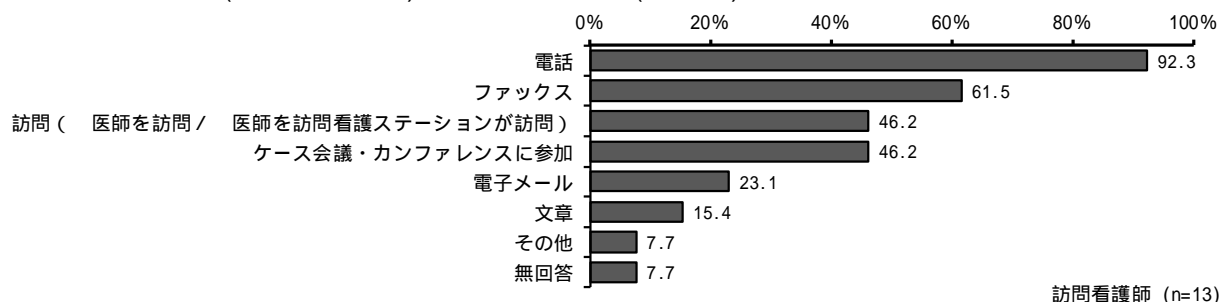




問27で「訪問看護指示書以外の連携や指示がある」又は「その他」とお答えの方におたずねします

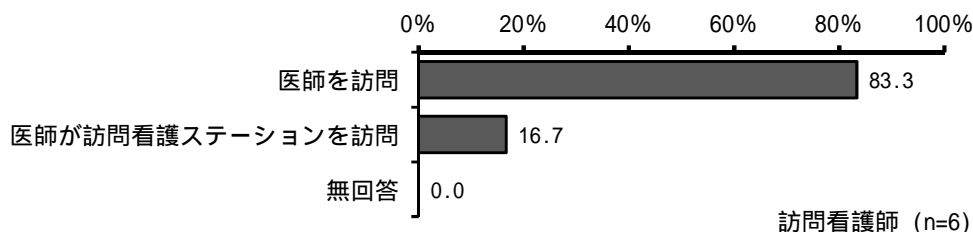
問27-1 具体的にどのような手段が用いられていますか。(いくつでも)

- ・「電話」(92.3%)が最も多く、次いで「ファックス」(61.5%)、「訪問」「ケース会議・カンファレンスに参加」(ともに46.2%)、「電子メール」(23.1%)と続いている。



【訪問】の方法

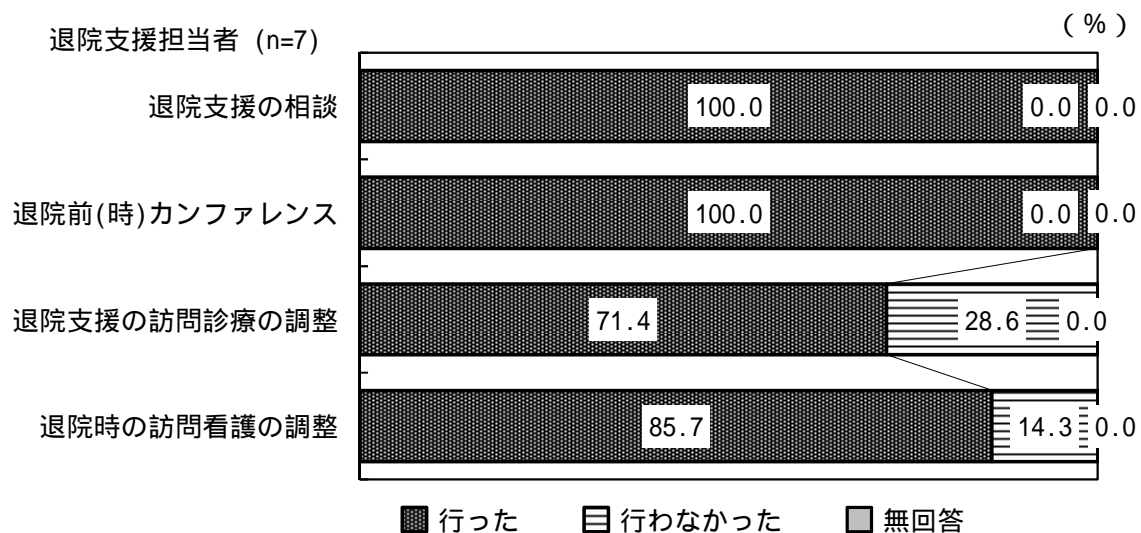
- ・「医師を訪問」が83.3%、「医師が訪問看護ステーションを訪問」が16.7%となっている。



(7) 病院の退院支援担当医者(医療ソーシャルワーカー、看護師)について

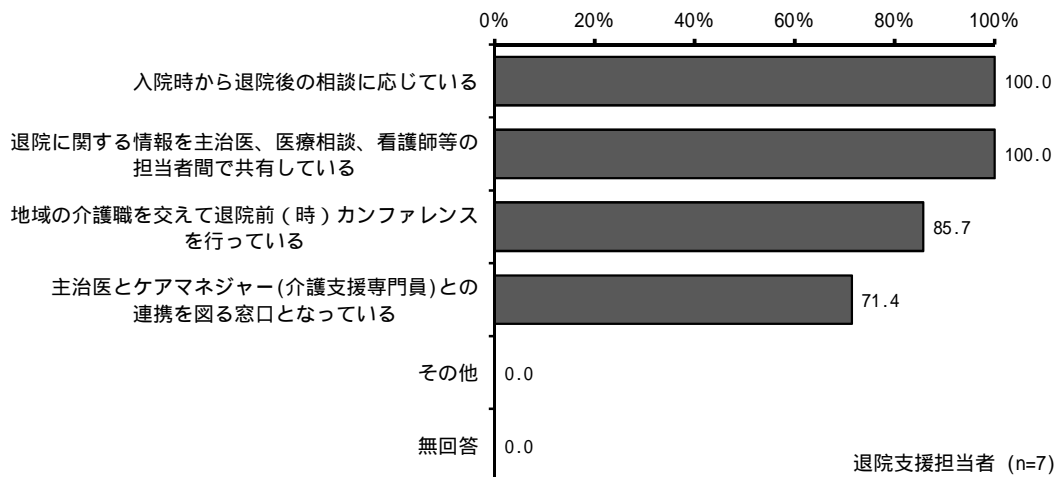
問28 貴医院における令和元年9月中の活動状況をお答えください。( ~ それぞれ1つに )

- ・「行った」割合は、『退院支援の相談』『退院前(時)カンファレンス』がともに100.0%、『退院支援の訪問診療の調整』が71.4%、『退院時の訪問看護の調整』が85.7%となっている。



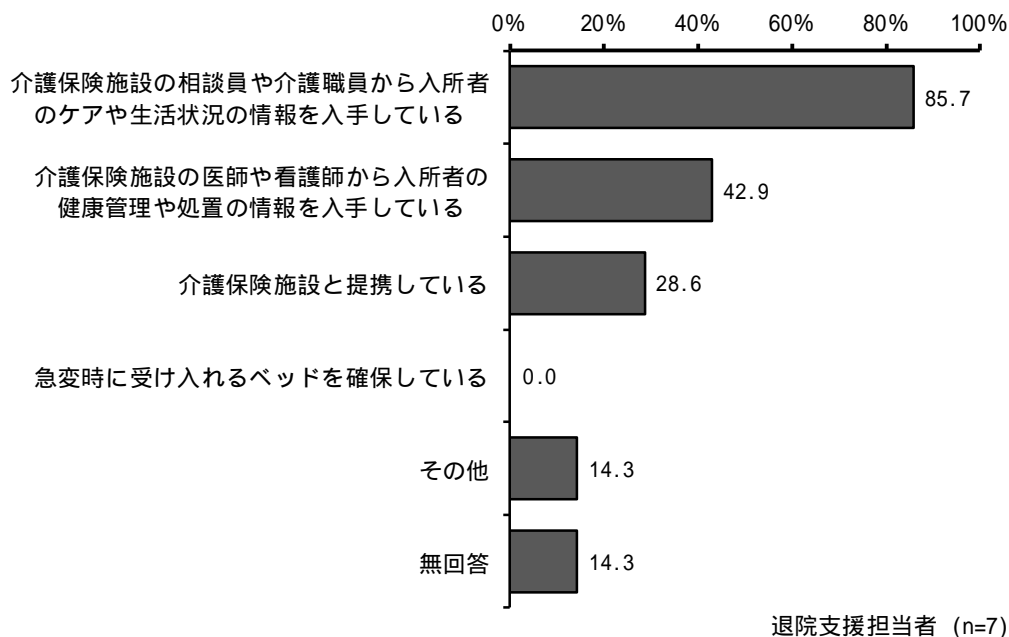
## 問29 貴医院では、どのような地域連携活動を行っていますか。(いくつでも)

- ・「入院時から退院後の相談に応じている」と「退院に関する情報を主治医、医療相談、看護師等の担当者間で共有している」(ともに 100.0%)が最も多く、次いで「地域の介護職を交えて退院前(時)カンファレンスを行っている」(85.7%)、「主治医とケアマネジャー(介護支援専門員)との連携を図る窓口となっている」(71.4%)と続いている。



## 問30 あなたは、介護保険施設とどのように連携していますか。(いくつでも)

- ・「介護保険施設の相談員や介護職員から入所者のケアや生活状況の情報を入手している」(85.7%)が最も多く、次いで「介護保険施設の医師や看護師から入所者の健康管理や処置の情報を入手している」(42.9%)、「介護保険施設と提携している」(28.6%)と続いている。



## (8) 地域包括ケアシステムの構築に向けた医療と介護の連携について

ここからは、すべての方がお答えください

問31 あなたは、医療と介護の連携で、どんなことに苦労していますか。具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、167件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
日常の連絡がとりにくい、情報交換が図りにくい	28
介護事業所やケアマネとの関わりが少ない、一部の事業所との連携しかない、担当者による違いが大きい	14
他機関、他職種・他科の理解不足、連携不足	13
患者・利用者家族との連絡、無理解、協力を求めにくいこと、本人と家族の意向の違い	8
制度やサービスについて	8
時間がない、時間調整	7
認知症のある方への支援	6
支援目標の共有化が十分でない、意識のずれ	5
在宅生活者支援に対する限界（医療の立場で介護との関わりバランスなど）	3
独居高齢者、キーパーソンの不在	3
スタッフ不足、経験不足	2
患者・利用者の生活実態の把握が不十分	2
在宅医療や介護に関する知識微速	1
その他	31
特になし、関係していない	36

問32 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）、訪問看護師、福祉施設介護員、福祉施設生活相談員、ホームヘルパー（訪問介護員）、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士にどのようなことを期待しますか。それぞれ具体的にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、542件（ケアマネジャー（介護支援専門員）：111件、訪問看護師：91件、福祉施設介護員：77件、福祉施設生活相談員：68件、ホームヘルパー（訪問介護員）：86件、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士：81件、その他：28件）の回答があった。以下、内訳を掲載する。

#### ケアマネジャー（介護支援専門員）

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	62
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	29
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	1
その他	5
特になし	14

#### 訪問看護師

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	36
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	25
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	5
その他	6
特になし	19

#### 福祉施設介護員

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	29
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	23
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	1
その他	2
特になし	22

**福祉施設生活相談員**

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	23
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	18
その他	3
特になし	24

**ホームヘルパー（訪問介護員）**

内容	件数
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	31
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	29
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	2
その他	4
特になし	20

**理学療法士・作業療法士・言語聴覚士**

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	21
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	35
その他	4
特になし	21

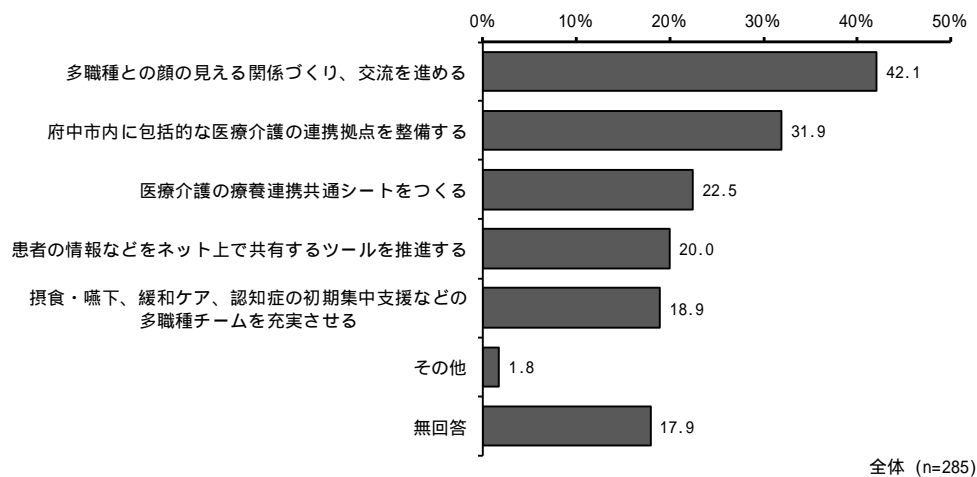
**その他**

内容	件数
他の専門職に対し、積極的な相談、情報共有・連携	8
専門職としての資質の向上、中立・公平性、適正な判断、利用者本位など、サービスに適切な利用促進	2
サービス・支援体制の充実（24時間、緊急対応など）	0
その他	5
特になし	13

問33 2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められていますが、その中で医療と介護の連携は最重要課題であるといわれています。あなたは、これから府中市で医療と介護の連携が進むために、どのようなことが必要だとお考えですか。

(1) 連携の仕組みづくり(2つまでに)

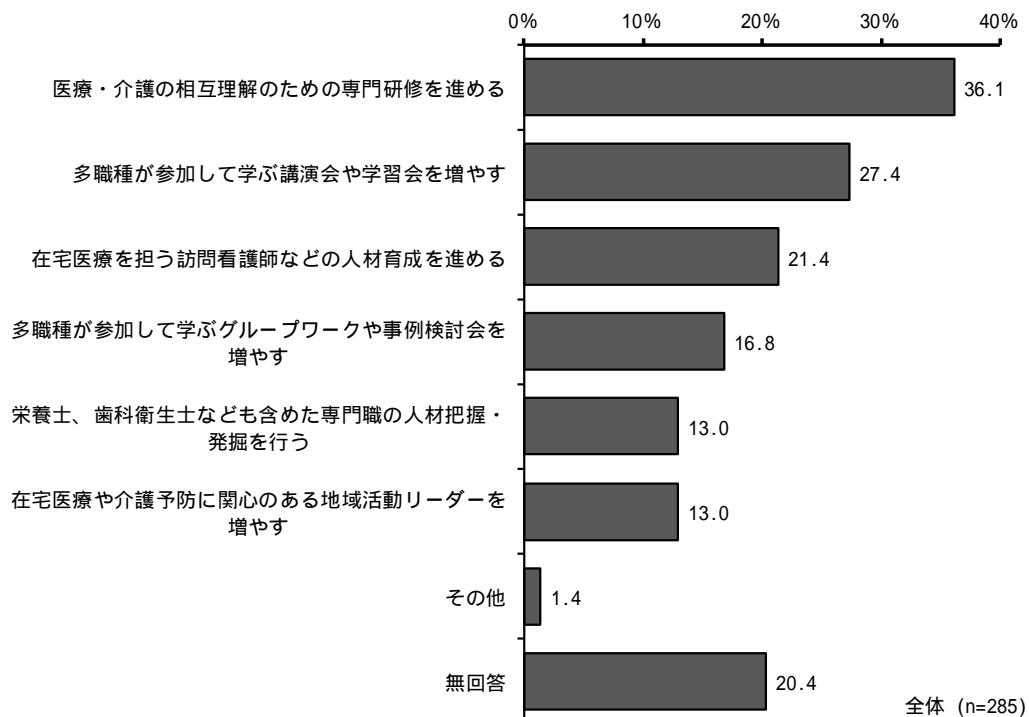
- ・「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」(42.1%)が最も多く、次いで「府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する」(31.9%)、「医療介護の療養連携共通シートをつくる」(22.5%)、「患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する」(20.0%)、「摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる」(18.9%)と続いている。
- ・「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」は、『医師』(34.7%)の割合が低く、『訪問看護師』(66.7%)で高くなっている。



		多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める	府中市内に包括的な医療介護の連携拠点を整備する	医療介護の療養連携共通シートをつくる	患者の情報などをネット上で共有するツールを推進する	摂食・嚥下、緩和ケア、認知症の初期集中支援などの多職種チームを充実させる	その他	無回答
全 体 (n=285)		42.1%	31.9%	22.5%	20.0%	18.9%	1.8%	17.9%
所属医療機関 (6種)	一般診療所 (在宅支援・届出有) (n=13)	53.8%	38.5%	15.4%	23.1%	7.7%	0.0%	23.1%
	一般診療所 (在宅支援・届出無) (n=86)	32.6%	31.4%	23.3%	14.0%	24.4%	1.2%	19.8%
	歯科診療所 (n=80)	41.3%	28.8%	16.3%	10.0%	25.0%	1.3%	27.5%
	薬局 (n=82)	47.6%	36.6%	25.6%	32.9%	7.3%	3.7%	8.5%
	訪問看護ステーション (n=15)	60.0%	20.0%	26.7%	26.7%	26.7%	0.0%	13.3%
	病院の退院支援担当者 (n=8)	50.0%	25.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師 (n=95)	34.7%	32.6%	22.1%	14.7%	22.1%	1.1%	20.0%
	歯科医師 (n=81)	40.7%	28.4%	16.0%	9.9%	24.7%	1.2%	28.4%
	薬剤師 (n=83)	48.2%	36.1%	26.5%	32.5%	7.2%	3.6%	8.4%
	看護師 (n=9)	55.6%	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%	11.1%
	訪問看護師 (n=6)	66.7%	33.3%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%
	医療ソーシャルワーカー (n=7)	57.1%	14.3%	57.1%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%

## 問33(2) 地域の人材育成(2つまでに)

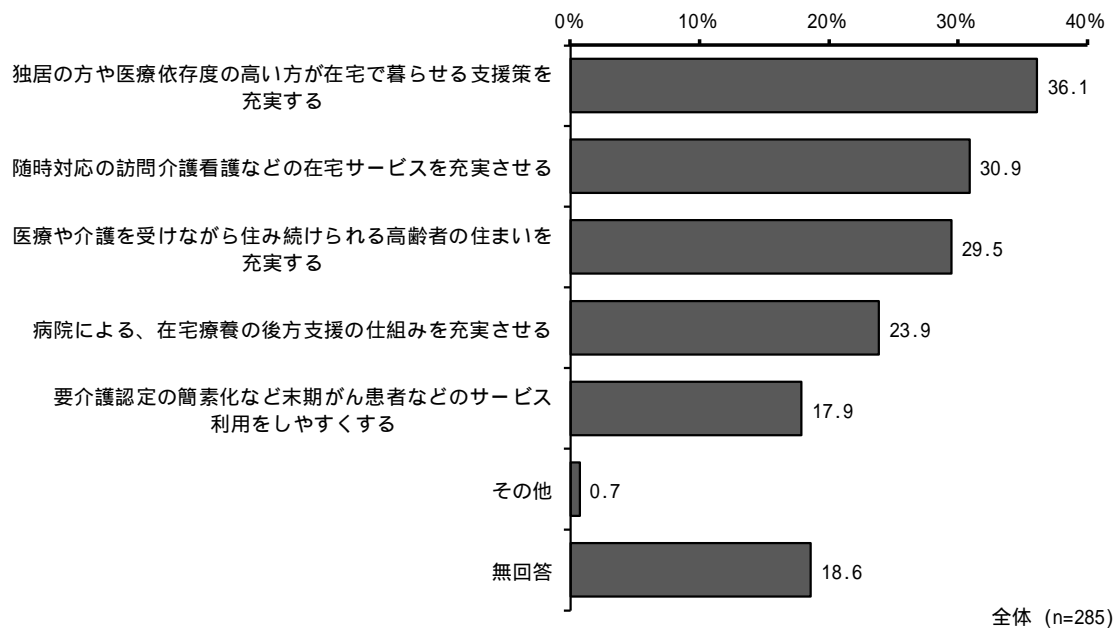
- ・「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」(36.1%)が最も多く、次いで「多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす」(27.4%)、「在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める」(21.4%)、「多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす」(16.8%)、「栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う」と「在宅医療や介護予防に関心のある地域活動リーダーを増やす」(ともに13.0%)と続いている。
- ・「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」の割合は、『看護師』(22.2%)で低く、『医療ソーシャルワーカー』(71.4%)で高くなっている。



		医療・専門研修の相互理解のため	栄養士、歯科衛生士なども含めた専門職の人材把握・発掘を行う	多職種が参加して学ぶ講演会や学習会を増やす	多職種が参加して学ぶグループワークや事例検討会を増やす	在宅医療や介護予防に関する地域活動リーダーを増やす	在宅医療を担う訪問看護師などの人材育成を進める	その他	無回答	
全 体		(n=285)	36.1%	13.0%	27.4%	16.8%	13.0%	21.4%	1.4%	20.4%
所属医療機関 ( 6 種 )	一般診療所（在宅支援・届出有）	(n=13)	30.8%	15.4%	23.1%	7.7%	38.5%	23.1%	0.0%	23.1%
	一般診療所（在宅支援・届出無）	(n=86)	26.7%	12.8%	22.1%	16.3%	15.1%	32.6%	1.2%	19.8%
	歯科診療所	(n=80)	38.8%	22.5%	23.8%	10.0%	5.0%	13.8%	2.5%	30.0%
	薬局	(n=82)	43.9%	6.1%	37.8%	24.4%	13.4%	9.8%	1.2%	13.4%
	訪問看護ステーション	(n=15)	33.3%	0.0%	20.0%	33.3%	13.3%	33.3%	0.0%	20.0%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	62.5%	0.0%	0.0%
職種 ( 6 種 )	医師	(n=95)	25.3%	13.7%	21.1%	14.7%	18.9%	32.6%	1.1%	20.0%
	歯科医師	(n=81)	38.3%	22.2%	23.5%	9.9%	4.9%	13.6%	2.5%	30.9%
	薬剤師	(n=83)	44.6%	6.0%	38.6%	24.1%	13.3%	9.6%	1.2%	13.3%
	看護師	(n=9)	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%	11.1%	44.4%	0.0%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	33.3%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	71.4%	0.0%	42.9%	14.3%	0.0%	42.9%	0.0%	0.0%

## 問33(3) サービス・基盤整備(2つまでに)

- ・「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」(36.1%)が最も多く、次いで「随時対応の訪問介護看護などの在宅サービスを充実させる」(30.9%)、「医療や介護を受けながら住み続けられる高齢者の住まいを充実する」(29.5%)、「病院による、在宅療養の後方支援の仕組みを充実させる」(23.9%)、「要介護認定の簡素化など末期がん患者などのサービス利用をしやすいとする」(17.9%)と続いている。
- ・「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」は、各職種ともに最も高い割合となっている。

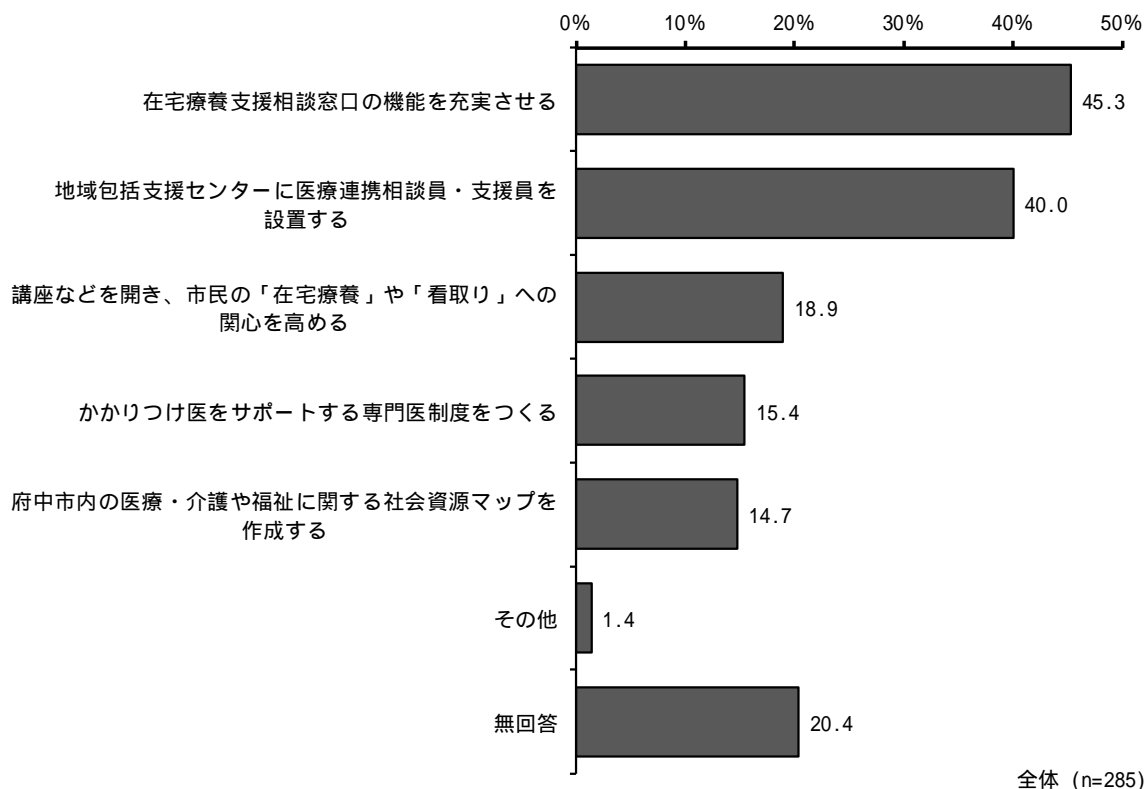


			随 時 対 応 の 訪 問 介 護 支 援 の 仕 組 み を 充 実 さ せ る	病 院 に よ る 、 在 宅 療 養 の 後 方 支 援 の 仕 組 み を 充 実 さ せ る	独 居 の 方 や 医 療 依 存 度 の 高 い 方 が 在 宅 で 暮 ら せ る 支 援 策 を 充 実 さ せ る	充 実 さ せ る 医 療 や 介 護 を 受 け な が ら 住 み つ け ら れ る 高 齢 者 の 住 ま い を 充 実 さ せ る	を し ん 介 護 す る 簡 素 化 な ど の サ ー ビ ス 利 用 を し や す く す る	そ の 他	無 回 答
全 体 (n=285)			30.9%	23.9%	36.1%	29.5%	17.9%	0.7%	18.6%
所属医療 機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	15.4%	46.2%	30.8%	23.1%	23.1%	0.0%	23.1%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	32.6%	27.9%	36.0%	29.1%	14.0%	0.0%	18.6%
	歯科診療所	(n=80)	31.3%	17.5%	32.5%	28.8%	12.5%	1.3%	28.8%
	薬局	(n=82)	31.7%	23.2%	36.6%	34.1%	20.7%	1.2%	11.0%
	訪問看護ステーション	(n=15)	20.0%	33.3%	46.7%	13.3%	46.7%	0.0%	13.3%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	50.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	31.6%	29.5%	34.7%	28.4%	14.7%	0.0%	18.9%
	歯科医師	(n=81)	30.9%	17.3%	32.1%	28.4%	12.3%	1.2%	29.6%
	薬剤師	(n=83)	31.3%	24.1%	37.3%	33.7%	20.5%	1.2%	10.8%
	看護師	(n=9)	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	55.6%	0.0%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	33.3%	33.3%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	28.6%	0.0%	57.1%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%



## 問33(4) 情報提供・相談支援の充実(2つまでに)

- ・「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」(45.3%)が最も多く、次いで「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」(40.0%)、「講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める」(18.9%)、「かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる」(15.4%)、「府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する」(14.7%)と続いている。
- ・「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」の割合は、『医師』『歯科医師』『薬剤師』はともに45%程度となっている。



		在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる	地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する	かかりつけ医をサポートする専門医制度をつくる	講座などを開き、市民の「在宅療養」や「看取り」への関心を高める	府中市内の医療・介護や福祉に関する社会資源マップを作成する	その他	無回答
全体	(n=285)	45.3%	40.0%	15.4%	18.9%	14.7%	1.4%	20.4%
所属医療機関 (6種)	一般診療所(在宅支援・届出有)	(n=13)	53.8%	38.5%	15.4%	30.8%	0.0%	23.1%
	一般診療所(在宅支援・届出無)	(n=86)	40.7%	46.5%	11.6%	16.3%	14.0%	22.1%
	歯科診療所	(n=80)	47.5%	35.0%	17.5%	11.3%	13.8%	27.5%
	薬局	(n=82)	45.1%	39.0%	13.4%	25.6%	19.5%	14.6%
	訪問看護ステーション	(n=15)	33.3%	26.7%	46.7%	26.7%	6.7%	13.3%
	病院の退院支援担当者	(n=8)	75.0%	62.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
職種 (6種)	医師	(n=95)	44.2%	46.3%	11.6%	16.8%	11.6%	22.1%
	歯科医師	(n=81)	46.9%	34.6%	17.3%	11.1%	13.6%	28.4%
	薬剤師	(n=83)	45.8%	38.6%	13.3%	26.5%	19.3%	14.5%
	看護師	(n=9)	22.2%	33.3%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%
	訪問看護師	(n=6)	50.0%	16.7%	66.7%	16.7%	0.0%	16.7%
	医療ソーシャルワーカー	(n=7)	71.4%	57.1%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%

問34 最後に、在宅療養者に対する医療や介護サービスのあり方、介護保険制度、医療保険制度等を含め、医療と介護の連携についてのご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

自由回答形式で聞いたところ、65件の回答があった。以下、内訳を掲載する。

内容	件数
医療・介護の連携について	28
制度、サービス、事業について	20
在宅療養について	5
市民への啓蒙・周知について	3
アンケートについて	1
その他	2
特になし	6

## 6 - 2 調査結果から見た課題

### 医療と介護の連携の推進

- ・医療と介護の連携について、「連携が不十分・ほとんど連携していない」と思う割合は合わせて29.1%となるが、その内訳は医療機関や職種により、0.0%から34.9%まで差が大きい。（問3）
- ・「連携が不十分、ほとんど連携していない」理由は、前回調査と同様に「誰と連絡をとればいいのかわからない」（43.4%）、「お互いに多忙で連絡がとれない」（42.2%）、「交流の場がない」（41.0%）が多くなっている。一方、これらの理由は、医療機関の種別や職種により、割合の違いがみられるなど、視点の違いがうかがえる。（問3-1）
- ・介護保険制度及び介護保険サービスの理解について、「あまり理解していない」「全く理解していない」は全体では36.1%で、0%の職種もみられる一方で、歯科医師では48.1%と、職種による差が大きい。（問7）

医療と介護の連携を進めるためには、単に顔の見える関係ではなく、医療と介護がお互いを理解し、共通の目標のもとで情報交換ができる交流の場の設定や、医療機関の種別や職種に応じた連携策が必要である。

### 地域包括ケアシステムの充実に向けて

- ・医療と介護の連携を進めるうえで、連携の仕組みづくりに必要なことは、「多職種との顔の見える関係づくり、交流を進める」が全体では42.1%と高く、医療機関の種別、職種別にみても、共通して高い割合となっている。（問33(1)）
- ・地域の人材育成に必要なことは、「医療・介護の相互理解のための専門研修を進める」が全体では36.1%で、医療機関の種別、職種別にみても、共通して高い割合となっている。（問33(2)）
- ・サービス・基盤整備に必要なことは、「独居の方や医療依存度の高い方が在宅で暮らせる支援策を充実する」が最も多く36.1%、医療機関の種別、職種別にみても、共通して高い割合となっている。（問33(3)）
- ・相談支援・情報提供に必要なことは、「在宅療養支援相談窓口の機能を充実させる」（45.3%）、「地域包括支援センターに医療連携相談員・支援員を設置する」（40.0%）と高く、医療機関の種別や職種により割合に差はみられるものの、いずれも高い割合となっている。（問33(4)）

地域包括ケアシステムの充実に向けて、医療介護連携の点においても地域包括支援センターの果たす役割は今後ますます重要となるため、その機能強化が求められている。